

2 0 0 1

授業概要

【シラバス】

心理学科

白梅学園短期大学

SHIRAME GAKUEN COLLEGE

目次 (心理学科)

教養教育科目 (1年)	1
文学・フィクションと人間	3
王朝文学の世界	4
話し言葉の文芸	5
西洋文学	6
近代日本の歴史	7
西洋史概説	8
東洋美術	9
演劇論	10
現代社会論	11
現代家族論	12
日本国憲法	13
市民生活と法	14
政治学入門	15
生活の経済学	16
マスコミュニケーション概論	17
現代社会と女性	18
自然科学史	19
生命の科学	20
生物と環境	21
生活の科学	22
健康の生理学	23
宇宙と地球	24
総合科目 人間	25~27
総合英語 I-1、2	28~31
海外語学研修	32
選択語学 I-1、2 英語	33~37
選択語学 I-1、2 独語	38
選択語学 I-1、2 仏語	39
スポーツ(テニス)	40
スポーツ(ダンス)	41
スポーツ(バレーボール)	42・43
スポーツ(トランポリン)	44
スポーツ(バドミントン)	45
健康科学	46
スポーツ科学	47
専門教育科目 (1年)	49
心理学概説	51
発達心理学 I	52
知覚心理学	53
学習心理学 I	54
学習心理学 II	55
人格心理学	56
生理心理学	57
基礎技法演習	58
心理学演習 I	59
心理学演習 II	60
心理学総合演習	61~64

心理統計Ⅰ	65・66
心理統計Ⅱ	67・68
情報処理Ⅰ	69・70
情報処理Ⅱ	71

司書科目（1年）

生涯学習概論	75
図書館概論	76
図書館経営論	77
情報検索演習	78
図書館資料論	79
資料組織概説	80
資料組織演習	81
児童サービス論	82
情報機器論	83

特別選択科目（1年）

時事・社会特講	87
労働・健康特講	88
家庭介護総論	89
家庭介護演習	90
家庭介護実習	91

教養教育科目（2年）

総合英語Ⅱ-1、2	95～98
選択語学Ⅱ-1、2 英語	99・100
選択語学Ⅱ-1、2 独語	101
選択語学Ⅱ-1、2 仏語	102

専門教育科目（2年）

発達心理学Ⅱ	105
心理学研究演習・卒業研究	106～112
心理学研究法	113～122
社会心理学	123
臨床心理学	124
精神生理学	125
心理検査法	126
カウンセリング	127
応用行動分析	128
心理療法	129
コミュニケーション論	130
非行の心理学	131
障害児心理学	132
健康心理学	133
心理学特講Ⅰ	134
心理学特講Ⅱ	135
精神保健	136
精神医学	137

司書科目（2年）	139
図書館サービス論	141
情報サービス概説	142
レファレンスサービス演習	143
専門資料論	144
資料特論	145
コミュニケーション論	146
図書館特論	147

教養教育科目（1年）

【授業科目】 文学・フィクションと人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>小説・映画・ドラマの中の世界は、どこにあるのか。それは我々の住んでいる「この現実」とは別の、「もう一つの別世界」である。この「別世界」の構造（しくみ）を考え、「芸術・フィクション」の秘密に迫るのが目標である。</p>	
【テキスト】 随時プリントを配布する。	
【参考書】 講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような流れで講義する。具体的作品等はプリントを使って紹介する。</p> <p>①「フィクション」について。</p> <p>例えば「小説」に書かれたことは、要するに全て「作り事」、つまり「嘘」である。映画もテレビドラマも同様である。しかしなぜ、我々はそんな「嘘」に感動したり、強い影響を受けたりするのか。——このような問題を考察する。</p> <p>②「作品世界」の構造（しくみ）について。</p> <p>「作品世界」つまり「もう一つの別世界」は、どのような「仕組み」で出来ているのか。そもそも、それは誰が「見ている」世界なのか。語っているのは「誰」なのか。少なくともそれは、いわゆる「作者」ではないはずである（例えば川端康成は「駒子」を「見る」ことは出来ない）。——このような問題から考察を始める。</p> <p>③フィクションと「現実」について。</p> <p>小説・映画・ドラマは「現実ではない」というが、では「現実」とは何なのか。何が「フィクション」で、何が「フィクション」ではないのか、の問題を考察する。</p> <p>○日本とヨーロッパの近代文学作品を中心に、美術・音楽も視野に入れた講義になる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p> <p>出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 王朝文学の世界	【担当者】 久保木寿子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の古典の多くが、受験文法の説明に使われるのみで、内容が知られないのは残念なことです。優れた古典は作品としての主張を持っており、現代に通じるものを必ず持っています。そのおもしろさに気づくことが、第一の目標です。そして、何が、何故おもしろいのかを検討し、文学の本質について考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>岩波文庫『竹取物語』</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時、指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>平安時代の『竹取物語』を取り上げます。姫はなぜ竹の中にいたのか。翁はどんな子育てをしたのか。で、姫は人間になったのか。なぜ月から追放され、よりによって人間界に来たのか。天皇を含む求婚者は、なぜ皆拒絶されたのか。知っているつもり物語は、実は謎がいっぱい。</p> <p>I 『竹取物語』の構成と主題について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな口承の話型（化生説話、致富説話、難題婚説話、羽衣説話、地名起源説話）を組み合わせて、物語は、書くことによって、ある主題を追求していくようです。上記の疑問を解明しながら、物語のおもしろさについて考えます。 <p>II さまざまな竹取説話を知る</p> <p>『竹取物語』以外にも、様々な竹取説話が伝わっています。今昔物語、海道記、古今集注、奈良絵本、現代の絵本などから、関係の部分を見ていき、平安『竹取物語』の特徴について、あらためて考えたいと思います。</p> <p>III 参考：＜浦島太郎＞の異界について</p> <p>古く『万葉集』『風土記』などに見える話が、平安時代の漢文作品を経て、やがて謡曲や御伽草子に取られていきます。もう一つの異界（海神の国）の話を覗いてみましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席重視。授業時のワンポイント・メモ、定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 話し言葉の文芸	【担当者】 東 喜望
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>将来に資するために、口承文芸をとりあげます。 初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。 大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。</p>	
<p>【テキスト】拙著『沖繩・奄美の説話と伝承』（おうふう・刊） （他に資料プリントを配布。スライド・ビデオ等映像資料上映）</p>	
<p>【参考書】適宜指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p><u>講義の概要</u></p> <p>I. 序（導入）—「わが国をニッポンというのはなぜか。」・国号と環太平洋の太陽神話</p> <p>II. 口承文芸概説</p> <p>(1) 神話 (2) 伝説 (3) 昔話</p> <p>III. 文芸の起源</p> <p>(1) 自然と人間の意識と神観念 (2) 「謡い」と「語り」の発生 (3) 信仰と説話—個人レベルから国家レベルへ (4) 神話の発展—伝説・昔話へ。</p> <p>IV. 口承文芸の現代的意義</p>	
<p>【評価方法】定期試験時の筆記試験。ただし、テキスト・ノート等参照可とする。</p>	

【授業科目】 西洋文学	【担当者】 衣川清子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 最近、映画化される西洋文学作品が多いのは良質のストーリーを求めると優れた文学作品に行き着くためと、優れた文学作品が時代をこえて生き残るためであろう。一方、現代の視点と問題意識で作られた映画は、文学作品に新しい解釈をもたらすことがある。また映画化のたびに違った相貌を見せる作品もある。本講義では、比較的最近、映画化・公開された西洋文学作品を取り上げ、小説と映画との違いに着目しながら小説と映画それぞれの魅力を探る。</p>	
<p>【テキスト】 なし（プリント使用）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 必要に応じて授業中に紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>毎回一つの文学作品とそれを映画化した作品を取り上げて講義し、映画の一部を視聴し、時代を経ても色褪せない文学の魅力のありかを考えたい。</p> <p>取り上げる予定の作品：</p> <p>ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』（1595年）；同映画(1968年及び1996年)</p> <p>ジェイン・オースティン『いつか晴れた日に』（1811年）；同映画(1995年)</p> <p>シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』（1847年）；同映画(1944年及び1996年)</p> <p>ナサニエル・ホーソーン『スカーレット・レター』（1850年）；同映画（1995年）</p> <p>ルイザ・メイ・オルコット『若草物語』（1868年及び1869年）；同映画(1933年、1949年及び1994年)</p> <p>ルーシー・モード・モンゴメリ『赤毛のアン』（1908年）；同映画（1985年）</p> <p>マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』（1936年）；同映画(1939年；リマスター版公開1998年)</p> <p>アリス・ウォーカー『カラーパープル』（1982年）；同映画(1985年)</p> <p>エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』（1988年）；同映画(1993年)</p> <p>ほか</p> <p>*作品は変更する場合がある。</p>	
<p>【評価方法】 平常点とレポート。</p>	

【授業科目】 近代日本の歴史	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本の近代の幕開けは開国から始まった。海からのプレッシャーがどのように日本の近代を開いたか。江戸時代が終わりをつげ、新たに明治が始まる時、何が大きく変化したのか。それは維新の変革と呼ばれるものの中身を問うことでもあり、また、そこから始まる近代日本の特質を捉えることでもある。政治の表舞台だけでなく、激動の中で行動し主張する人々の姿にも目を向けてみよう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>幕末の社会の動きを追うことからはじめ、開国を経て維新政府の成立、明治新政の開始頃までを時間の流れに沿って話して行きたい。この時代についての予備知識は必要としない。以下のようなテーマで、できるだけかみ砕いて話をしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> △大塩平八郎は何を訴えたか ▲水野忠邦の改革はなぜ失敗したか △ペリーはなぜ日本を訪れたか ▲井伊直弼はなぜ開国に踏切り、そしてなぜ暗殺されたか △皇女和宮はなぜ降嫁したか ▲新選組は何を守ろうとしたか △世直し一揆と「ええじゃないか」は何を求めたか ▲議会制をも構想した坂本龍馬のプランとは △大政奉還を決意した徳川慶喜の思惑は ▲西郷、大久保、木戸はなぜ武力倒幕に踏み切ったか △維新政府はなぜ「富国強兵」をめざしたか ▲ 征韓はなぜ唱えられ、そして挫折したか △大久保が選んだ「内治優先」とは ▲自由民権の思想は何をめざしたか △なぜ軍拡と対外膨張の近代か 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 西洋史概説	【担当者】 深川美奈
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 西洋世界の歴史事象に関する基礎的知識の習得を目的とする。</p>	
<p>【テキスト】 松村尠、西川正雄、山口定、『地域からの世界史<14> 西ヨーロッパ<下>』、 (朝日新聞社、1993年)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>フランス革命以降の西洋世界の成り立ちから戦後世界に至るまでを、いくつかのテーマに即して概説する。その際、第二次世界大戦後のヨーロッパ復興を民衆の視点から考察することをテーマの一つとして考えている。その他のテーマについては開講時に説明する。</p> <p>参考書は、適宜紹介する。</p>	
<p>【評価方法】 試験、出席で総合評価する。</p>	

【授業科目】 東洋美術	【担当者】 鈴木 泉
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東洋美術の中核は仏教美術であり、その仏教美術を知るための基本的存在が仏像彫刻と言って差し支えない。本授業では、この仏像彫刻の歴史的な展開を、東洋の端に位置する日本を例に概観し、東洋美術の一面を垣間見ることとする。そこから、美術作品を見る眼、さらには美術分野に関する教養・知識の幅を広げることが狙いではあるが、なにより受講者諸君には、仏像を通して美術鑑賞の面白さを知ってもらいたいと考えている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いず、適宜プリント資料を配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献等は必要に応じて授業中に紹介して行く。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>紀元前6世紀頃、釈迦によってインドに誕生した仏教は、紀元1世紀頃、礼拝対象としての仏教尊像すなわち仏像を造り出した。やがて、仏教の広まりとともに仏像もアジア各地に伝わり、それぞれの国・地域でその表情や姿を変えて行くのである。</p> <p>通例「東洋」とは、インド以東、主に東南アジア諸国・中国・朝鮮・日本を指す語といつてよい。しかし、その範囲は広く、各地域で文化の様相が異なり、美術様式も一様ではないため、必然的に地域・内容を絞らざるを得ない。</p> <p>今年度も、我々にもっとも身近な日本の仏像彫刻に焦点を当て、その様式の古代から中世にかけての変遷について概観する（余裕があれば鎌倉時代以降の流れについても言及したいと考えている）。日本の美術は、常に大陸、とりわけ中国・朝鮮半島の強い影響を受けて進展を遂げており、彫刻も例外ではない。そこで、本授業においてもこの点を十分に踏まえ、随時中国・朝鮮半島等の仏像を比較参照の意味で紹介して行きたいと思っている。</p> <p>授業はおおよそ以下の順序（前後することもある）・内容を予定している。一つのテーマを1～3回の講義でまとめて行くつもりである（授業回数の都合により一部変更する場合あり／ほぼ毎回スライドを使用する予定）。</p> <p>I. 仏像の見方</p> <p>① 仏像の種類・かたち</p> <p>② 仏像の材質・構造</p> <p>II. 仏像の誕生とその伝播</p> <p>③ インドから中国・朝鮮半島への流れと日本への伝播</p> <p>III. 日本における仏像様式の展開</p> <p>④ 飛鳥時代の彫刻～《仏教伝来・渡来仏・止利仏師・止利様式と非止利様式・法隆寺の諸像》</p> <p>⑤ 白鳳時代の彫刻～《小金銅仏・当麻寺の諸像・旧山田寺仏頭・童顔童子形像》</p> <p>⑥ 天平時代の彫刻～《法隆寺塔本塑像・葉師寺、興福寺、東大寺、唐招提寺の諸像・写実表現の完成》</p> <p>⑦ 平安時代の彫刻～《唐招提寺木彫像群・密教尊像・一木造像・大仏師定朝と定朝様式・和様化・寄木造像》</p> <p>⑧ 鎌倉時代の彫刻～《運慶、快慶と慶派仏師・宋風彫刻・新たな写実表現》</p> <p>IV. 総括</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>① 平常点（出席状況＝2/3以上の出席が原則・受講態度等） ② レポート（1回）</p> <p>③ 定期試験（筆記）</p> <p>以上を総合して判断する。詳細はあらためて授業中に説明する。</p>	

【授業科目名】 演劇論	【担当者】 高橋秀雄			
【開講期】 1年 前期				
【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から発しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇について考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特質を探究する。				
【テキスト・参考書】 テキスト：使用しない 参考書：各種演劇関係書（その都度指示する）				
授 業 計 画				
<p>洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには、西欧の諸演劇と日本の演劇と比較することによって、その多様性と特質を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教儀礼と演劇 2. 悲劇と喜劇 3. 能と「花伝書」 4. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム 5. 歌舞伎と「虚実皮膜論」 6. 歌舞伎と新劇 7. オペラとミュージカル 8. 比較演劇論 9. 現代と演劇 				
<p>【評価方法】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 </td> <td style="border: none; font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="border: none; vertical-align: middle;">左記3項による総合評価</td> </tr> </table>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 	}	左記3項による総合評価
<ol style="list-style-type: none"> 1. 期末のレポート 2. 授業時の小レポート 3. 授業時の平常点 	}	左記3項による総合評価		

【授業科目】 現代社会論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちが生活している今の社会はいろいろな側面から捉えていくことができる。</p> <p>本講では、「文化」を主たるテーマにして、現代社会を論じてみることにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業中に適宜指示する</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「文化」のさまざまな定義 2. 人間にとって「文化」がもつ意味 3. 「文化」への参加のいくつかの段階 4. 「文化」の発生から消滅までの図式 5. 「文化」の諸相 (1) 子どもの「文化」 6. 同上 (2) 若者の「文化」 7. 同上 (3) おとなの「文化」 8. 同上 (4) 高齢者の「文化」 9. 生活の節・年中行事としての「文化」 	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテスト（ノート等持ち込み不可）</p>	

【授業科目名】 現代家族論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉－家族問題への対応』 培風館</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって家族とは何か 2. 家族のはたらき 3. 家族のタイプ 4. 家族のしくみ 5. 家族と福祉 6. まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> － 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。 － 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一律に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。 － 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家蔵のタイプが望ましいか、考える。 － 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。 － 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの養育と家族福祉 (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉 (3) 高齢化社会における家族福祉 － 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。
<p>【評価方法】 ペーパーテストを期末に実施</p>	

【授業科目】 日本国憲法	【担当者】 松田 浩
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、日本国憲法の仕組みと働きの大枠を理解することを目標にします。みなさんがこれから市民として、職業人として生活していくうえで、最低限必要な憲法や法についての基本的な考え方を、この授業を通じて身につけて下さい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>無</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>さしあたり、芦部信喜『憲法』（岩波書店）。「面白い本」ではありませんが、日本国憲法についてのスタンダードな知識を得たい方は手にするといいでしょう。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、日本国憲法とは何か 2、日本国憲法の基本原則 3、国民主権・天皇制 4、平和主義 5、基本的人権総論 6、精神的自由権 7、経済的自由権 8、人身の自由・国務請求権・参政権 9、社会権 10、統治機構総論・国会 11、内閣・財政・地方自治 12、裁判所・違憲審査制 13、憲法改正 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（出席）と期末試験で評価</p>	

【授業科目】 市民生活と法	【担当者】 武藤 健一
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年半後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出て行って、自分が女性であることから遭遇するかもしれない事柄・問題について検討し、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけを得られるようにすることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは用いません（レジュメ配布）。</p>	
<p>【参考書】 伊田 広行 「シングル単位の社会論」（98年 世界思想社）を読むことを強く勧めておきます。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代の日本社会では女性がどのような状況におかれているかを、女性労働と恋愛・結婚、という2本の柱を立てて、様々な統計的資料やその分野に関わる法律の内容を検討します（たまにビデオをみることもあります）。</p> <p>具体的には労働では、① M字型雇用 ② 総合職・一般職 ③ セクシュアル=ハラスメント ④ 派遣労働 ⑤ 育児・介助休暇 ⑥ パート労働 ⑦ 性別職務分離・男女賃金格差 ⑧ 男女雇用機会均等法・労働基準法 ⑨ 就職・転職、の9項目を、</p> <p>恋愛・結婚では、① 恋愛観・結婚観 ② 結婚 ③ 家事 ④ 育児 ⑤ 夫・恋人の暴力(DV) ⑥ 子どもの虐待 ⑦ 離婚、の7項目を予定しています。</p> <p>注意点</p> <p>1) 一方的なつまらない授業にはしたくないので、学生の皆さんの積極的な授業参加を願っています。</p> <p>2) 飲食などの、授業や他の人の迷惑にならない事は、自由にしてもらって構いませんが、おしゃべりなどは絶対に許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学年末に簡単な筆記試験を行ない、その評価をもとに授業の出席点（レポート点）を加味して評価を下します。</p>	

【授業科目】 政治学入門	【担当者】 梅田 欽 治
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>主権者の一人として、日本と世界の政治に関心を持ち、自立した自分の意見をもてるようになること。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業のなかで資料を配付し、それをテキストにします。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて授業のなかで紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「政治なんて嫌い」「政治は私には関係ない」「政治は難しくて、わからない」などという人がいるかもしれません。本当にそうなのだろうか。</p> <p>実は、政治はドラマのように面白いのです。しかも私たちの生活に直接、関係しています。どうして、いまの日本の政治に怒らないのか、憤らないのか。</p> <p>どうして、あきらめているのか、このままで、私たちの未来はどうなるのだろうか。こういうことを知りたい人は、この授業を受けたい。</p> <p>毎回、なにか新しい発見があるでしょう。</p> <p>いよいよ新しい世紀、21世紀が幕を明けました。この21世紀はどのような時代になるのか、どのような時代を創ることができるのか、そのヒントは20世紀の歴史のなかにあるのです。20世紀の歴史のなかで、政治について考えることにしましょう。</p> <p>戦争と平和、人権・環境…大きな課題があります。</p> <p>そして、それらの根底には「国家と個人」「個の自立」という問題があるのです。</p> <p>私たちは日本国の主権者です。私たちが政治を動かすのです。日本を創るのです。政治学入門は、そのために学ぶのです。入門だから、気楽に受講しなさい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、受講態度と試験の結果で評価します。</p>	

【授業科目】 生活の経済学	【担当者】 高橋美保
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間はすべて、さまざまな欲求を充たしながら生活している。その欲求の対象は物質的なものだけでなく、精神的なものも含まれている。したがって生活経済論はいろいろの側面をもっている。授業では、現代の日本社会の中の人々の暮らしを市場経済的側面からとらえるだけでなく、経済外的な側面も考察し、総合的に現代の生活経済の基本的な知識を習得するようにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業の中で、適宜紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>次のような編成で、講義を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族形態の多様化と家計 2. 国民経済の中の家計 3. 税金と社会保障費の負担 4. 収入と収入構造の変化 5. 支出と支出構造の変化 6. 家計の貯蓄と負債 7. 環境に優しい家計 8. 医療制度の現状 9. 社会保障制度の現状 10. 余暇生活 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業への出席状況とレポートによって評価する。</p>	

【授業科目】 マスコミュニケーション概論	【担当者】 瀬木博道		
【開講期】 1年 後期			
<p>【授業目標】</p> <p>現代はマスコミ支配の時代ともいえる。このマスコミを初歩から説き起こし、マスコミ現象が社会に及ぼす影響について考えられるようにしたい。言論の自由の基礎になる「知る権利」を重点に学ぶと同時に、社会で実際に必要となる広告、広報の理論と実際もさぐって行きたい。</p>			
<p>【テキスト】</p> <p>瀬木博道ほか共著 「コミュニケーションするPR」電通</p>			
<p>【参考書】</p> <p>瀬木博道ほか共著 「広報の基礎Ⅰ」日経広告研究所</p>			
授 業 計 画			
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. マスコミの理論 (上) 2. 同 (下) 3. マスコミの実際 4. ジャーナリズムの理念 5. 日本と欧米のジャーナリズム 6. メディアとしてのテレビの長所、限界 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 7. 言論の自由と知る権利 (上) 8. 同 (下) 9. 広報概論 10. パブリシティとは 11. 国際広告 12. 記者クラブの問題 13. 広告の概念 </td> </tr> </table>		1. マスコミの理論 (上) 2. 同 (下) 3. マスコミの実際 4. ジャーナリズムの理念 5. 日本と欧米のジャーナリズム 6. メディアとしてのテレビの長所、限界	7. 言論の自由と知る権利 (上) 8. 同 (下) 9. 広報概論 10. パブリシティとは 11. 国際広告 12. 記者クラブの問題 13. 広告の概念
1. マスコミの理論 (上) 2. 同 (下) 3. マスコミの実際 4. ジャーナリズムの理念 5. 日本と欧米のジャーナリズム 6. メディアとしてのテレビの長所、限界	7. 言論の自由と知る権利 (上) 8. 同 (下) 9. 広報概論 10. パブリシティとは 11. 国際広告 12. 記者クラブの問題 13. 広告の概念		
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、受講態度を参考にして、学期末の筆記試験で決める。</p>			

【授業科目】 現代社会と女性	【担当者】 富永静枝
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>男女共同参画社会に向けて、伝統的な性別役割分業を見直し、21世紀に生きる男女の望ましい在り方や生き方を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義資料（プリント）は随時必要に応じて配布する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「男女は平等になっていますか」と聞かれたらあなたはなんと答えますか。家族や女性を取り巻く社会的状況が大きく変化し、男女共同参画社会に向けて、男女雇用機会均等法の改正や介護・育児休業法の実施など法的整備は整えられつつあります。しかし本当に男女は平等になっているのでしょうか。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を発揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることはまだまだ困難な状況にあります。一方男性も厳しい労働環境の中で豊かな家族関係を築くことが難しい状況におかれています。そこでこの授業では人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学びます。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、女性のライフサイクルの変化 2、女性を取り巻く社会的状況 3、性別役割分業とその問題点 4、女性と職業 5、少子・高齢社会と女性 6、女性と人権 7、男女平等をめざす世界の運動と日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末試験、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 自然科学史

【担当者】 柳下登

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学の歴史はヒトから人間化への歴史である。人間は古代から生命、広くは生物的自然に強い関心を持ち、それについての理解は紆余曲折を経て科学の姿を整えてきた。この講義ではそれぞれの時代の自然についての理解がより科学的な考えにとってかわった過程を概観することにした。そして、各論として生命の正体の追求とその成果による生命操作を考察し、最後に 21 世紀の科学・技術と人間、社会の課題についても言及したい。

【テキスト】 プリントを中心におこなう予定。

【参考書】

新編自然科学入門（甲斐義幸）学術図書、科学思想のあゆみ（Ch. サンガー）岩波書店、科学の考え方・学び方（池内 了）岩波ジュニア新書、近代科学の歩み（H. バターフィールド）岩波新書、遺伝子組換え作物に未来はあるか（柳下登ら）本の泉社 世界のたね（E. ニュート）NHK 出版

授 業 計 画

1) 自然科学史

a. 自然とは b. 自然科学とは c. 歴史科学とは

2) 科学を成立させた人間の条件

a. 森の生活者サル類がヒトをつくる b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道
c. 四本足から二本足へ d. 道具が人間をつくる e. 生きること（生活）が自然についての理解を深める f. 道具で道具をつくる g. 定住と農耕 h. 技術が先か科学が先か

3) 古代のエジプトとギリシアでの「科学」の起こりと近代科学の成立

a. ナイル河の知的贈り物 b. 自然を見つめた人びと c. 諸学の根源—アリストテレス
d. アリストテレスに別れをとげニュートンへの道

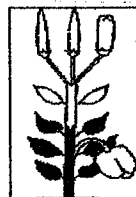
4) 生き物の正体を求めて

a. アリストテレスの自然のはしご b. ヘルモントラの自然発生説 v s パスツールの実験
c. 細胞（生命）あるものから細胞（生命）へ d. ラマルク：生物は段々と複雑になった
e. ダーウィン：生物は共通の祖先から f. オパーリの生命の起源と自然発生」説の復活
g. メンデルの遺伝の粒子説 h. ワトソン・クリックの DNA の 2 重らせん
i. バイオテクノロジー（遺伝子組換え、クローン、ゲノム解析）の確立

5) 21 世紀の科学技術と人間、社会の課題

a. 市民参加による共通理解と合意形成

6) 私の研究史：ピートン物語



【評価方法】 定期試験にかわる課題レポート。その他、希望によって、自発的なテーマの設定による科学博物館見学、自然科学関係図書読書などについてのレポートも評価に加える。

【授業科目】 生命の科学	【担当者】 小作明則
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>21世紀を迎えた今、「生命」に対する考え方は大きく変貌しつつあります。この変貌を支える「生物学・医学」で扱う「生命の成立過程」について地球物理学、化学、進化生物学そして歴史学的な面から理解を深めることで今後、人類が個人レベルで判断・選択を迫られる「生命」というものについて考えてみたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキスト・参考書は特に指定しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この講義では授業目標に掲げた内容を理解するために、おおよそ以下の各時間ごとのテーマに従って講義を進めていく。この講義は講義室での説明・板書だけが目的ではなく、できる限り実物を自分の眼で見、手で触り、バーチャルではなく五感を持って理解することを目的としたい。</p> <p>以下に時間ごとのおおよその講義タイトルを示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 太陽系と地球の誕生、物質の由来 2. 地球と水と生命誕生 3. 地球型生物の特徴と進化 4. 分子生物学と進化 5. 植物と動物の分化と進化 6. 生物の存在と地球環境の変化 7. 脊椎動物の進化 8. 生殖方法の変化と動物進化 9. サルとヒト <p>以上を講義として行い、これ以外に博物館、水族館、動物園等さらに玉川上水の散歩等実物を見ながら生命について考えていこうと考えている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートあるいは筆記試験</p>	

【授業科目】 生物と環境	【担当者】 吉川研二
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>地球上に生命が誕生したのは20数億年前という。以来、地球生態系は多種多様な生物によって脈々と維持され続けてきた。この生態系にヒトという種が加わったのはわずか数百万年前のことである。当初、ヒトは多くの生物たちと共存してきた。しかしこの一世紀ほどの間に多様な生物の世界は急激に失われつつある。その最大の原因は人間による生物の生息環境の汚染や破壊、資源の乱獲などである。多くの種の消滅は生態系の単純化につながり、ヒトの生存も危うくなる。ヒトと生物とその生存環境を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>OUR STOLEN FUTURE 邦訳『奪われし未来』 1997. 9 翔泳社</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>海洋生物学者の Rachel L. Carson は『Silent spring』の中で合成殺虫剤が自然界にもたらす危険性について警告した。40年近くたった今また、環境ホルモンという合成化学物質が生物の世界に影響し始めた。40年前の警告によって人類はどれだけ賢くなったのだろうか？</p> <p>授業では基礎的な科学の素養が必要。今までの勉強で得た幅広い知識を生かして臨んでください。</p> <p>自然科学の世界 単位について 環境とは 生物の世界 生態系、その構造と機能 天然化学物質と合成化学物質 沈黙の春 環境汚染 内分泌かく乱物質 奪われし未来</p>	
<p>【評価方法】 平常点＋筆記試験</p>	

【授業科目】 生活の科学	【担当者】 滝沢靖臣
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住ならびに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している原子や分子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでも正しく理解できるようになることを本授業の主眼としている。</p>	
<p>【テキスト】 「物質とは何か」-化学の基礎- 東京教学社</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的な現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても授業を受けることで理解できるように平易に解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。 2. 身の回りにある水分子の世界を覗いてみよう。 3. 原子と分子と私たちの生活。 4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。 5. 物質をつくっている分子の構造は何により決まるのだろうか。 6. 物質の状態は何により決まるのだろうか。 7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。 8. 酸はなぜ酸っぱく感じられるのだろうか。 9. アルコールの正体は何であろうか。 10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。 11. 人や物質の老化は防げるのだろうか。活性酸素の化学。 12. 物質科学とエネルギーを考える。 13. 物質科学から見た衣類、高分子化学の世界をみる。 14. 石油資源と石油化学を考える。 15. 21世紀の物質の世界を考える。 	
<p>【評価方法】 試験、レポート、出欠により評価する。</p>	

【授業科目】 健康の生理学	【担当者】 明渡陽子
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 1. 健康の概念と健康管理活動の原理の理解 2. 人体各器官の生理機能の理解 3. 疾病予防や健康増進に必要な基本的知識の習得 4. 女性の医学 5. 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定）：自己測定を行い健康への関心を高める	
【テキスト】 栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論 南江堂	
【参考書】 新・健康管理概論（改訂第2版）医歯薬出版 シンプル 衛生公衆衛生学（改訂第9版）南江堂	
授 業 計 画	
第1回 健康の概念 第2回 疾病予防と健康管理（I-1）：わが国の健康水準と健康増進施策 第3回 疾病予防と健康管理（I-2）：生活習慣病（癌・心疾患・高血圧） 第4回 疾病予防と健康管理（I-3）：生活習慣病（脳血管疾患・糖尿病・高脂血症） 第5回 疾病予防と健康管理（II）：健康管理法 （肥満・運動・ストレスと休養・飲酒・喫煙などの健康への影響） 第6回 健康管理の実際（血圧測定・体脂肪率測定） 第7回 女性の医学（I）（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン） 第8回 女性の医学（II）（主な疾患の概要） 第9回 女性の医学（III）（性病・人工妊娠中絶と避妊法） 第10回 学校保健・産業保健 第11回 環境保健・母子保健・地域保健 第12回 日常出会う乳幼児疾患 第13回 成人・老人保健 第14回 保健医療制度と法規	
【評価方法】 出席点と筆記試験	

【授業科目】 宇宙と地球	【担当者】 猪郷久義
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類は地球史の中では最も新しく出現したにもかかわらず、地球の自然環境を自らの手で改変するまでに至っている。また生命史という観点では、人類の遠い先祖は地球創生期の30数億年前まで遡る事ができる。この授業では宇宙の一員としての悠久の地球史と生命史を通して現在の地球環境を考察する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて随時推薦する</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 新しい地球観—プレートテクトニクス— 2) 地球の概観—陸地と海洋— 3) 地球の内部を探る 4) 地球の構成物—身近な鉱物と岩石の科学— 5) 防災の科学としての地球科学—地震と火山— 6) 地球環境の変遷と古生物—繁栄と絶滅— 7) 宇宙の中の地球 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と論述形式のテストで評価する</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>【総合科目人間全体について】</p> <p>1年間で3人の教員が担当する総合科目であり、「ヒューマニズムと人間」の考察が大目標である。 栗田（前期前半）→ 鍾（前期後半）→ 平賀（後期）の順で講義する。</p> <p>【栗田担当分について】 哲学的なアプローチで「人間・ヒューマニズム」を考察する。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
<p>-----</p> <p>【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>「ヒューマニズムは間違っている」と言う人は多くないが、では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のか。「人間を大切にするのは当たり前だ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。要するに、「世間的通念」に流されているだけである。「ヒューマニズム」は白梅学園「建学の理念」ともされているが、その「理念」自体も、自由な学問的立場で検証されねばならない。</p> <p>こうした立場から、おおむね、以下の順に講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「根源的に問う」態度について。 ② 「自己」と「世界」 ③ 我々の状況—近代に於ける「人間」の問題 ④ 「近代ヒューマニズム」思想の問題点 ⑤ アイデンティティと共同体 	
<p>【評価方法】 <u>1年間を通して</u>（3人の教員が各々の担当部分の評価を持ち寄り）<u>全体として成績評価を下す</u>。</p> <p>栗田担当部分の評価は、レポートにより、出席点を加味する。</p> <p>講義を良く聴いて、しっかりノートをとっておくこと。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 鍾 家新
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>本講義は中国の事例を中心に、国際比較を通して、①自然に対する人間の意味付与と自然への融和、②人間の拡張欲望、③人間の消費欲望、④人間の欲望を実現・制限する現代国家、について分析する。日本人と中国人の人間像の異同及び現代国家における個人・家族の苦闘を探究する。異文化比較の手法を取り入れる。本講義の受講によって、学生たちは人間、現代国家、外国を相対的に見るための知識と能力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>鍾家新著『中国民衆の欲望のゆくえ — 消費の動態と家族の変動』新曜社、1999年。</p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>講義の中で必要に応じて参考文献を紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p style="text-align: center;">授業ではつぎの諸テーマを取り上げる。</p> <p>I 自然に対する人間の意味付与と自然への融和 ①中国の住宅と日本の住宅との比較 ②「風水」信仰の意味・背景・影響</p> <p>II 人間の拡張欲望 — 家族の日中比較 ①外国人が見る日本の家族構造の特徴 ②中国の家族構造と伝統文化の深さ ③中国の「一人っ子政策」と日本の少子化 ④中国女性の社会的地位と日本女性の社会的地位</p> <p>III 人間の消費欲望 ①中国民衆の消費動態 ②近代化が進む中国民衆と日本民衆との共通点</p> <p>IV 人間と国家 ①人間の欲望を実現する手段とする現代国家 ②人間の欲望を制限する装置とする現代国家</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験（テキスト・ノートなど参照可）と出席状況。</p>	

【授業科目】 総合科目人間	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>前期のヒューマニズムと人権に引き続き平和について考える。平和という言葉の意味するものを含め、その状態にするためにはどのような取り組みが必要か、そしてこれまでその目的のためにどのような積み重ねが行われてきたかを明らかにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特にさだめない</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>まず戦争と平和の問題をてがかりに話を進めるが、非戦争状態＝平和とは必ずしも言えないのが現代社会の特徴でもある。そのような非平和的状态を的確に捉えることも課題として重視したい。大きく以下のような柱立てを考えている。</p> <p>△18, 19世紀のヨーロッパイギリス、フランス、ドイツの国民国家形成 ▲帝国主義戦争の時代－現代の地域紛争の原因 △日本の近代化＝遅れた国民国家形成－特異なナショナリズム形成 ▲第2次世界大戦とその後の冷戦 △核時代とゼロサム社会の現実 ▲地域紛争の実相を探る－湾岸の危機、コソボ紛争、東ティモールの現実 △戦争の世紀＝20世紀の克服－国民が国家を超える時 ▲平和思想の歴史から何を学ぶか △日本国憲法、国連の役割と改革、NGOの可能性 ▲飢餓、貧困、差別の実態 △地球市民としての自覚と行動</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す</p>	

【授業科目】 総合英語 I-1、2	【担当者】 及川 学
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ヘレン=ケラーの自伝を文法的に正確に読みこなし、あわせてテキストの文章のリスニングを行い聞き取りの能力も高めていく。中途半端な訳や勘で訳すのではなく論理的な根拠のある和訳ができるよう指導していく。</p>	
<p>【テキスト】 テキスト:『THE STORY OF MY LIFE ヘレン・ケラー自伝』 ヘレン・ケラー 西田実註解 成美堂</p>	
<p>【参考書】 参考書:授業時に紹介</p>	
授 業 計 画	
<p>第1週:授業の進め方の説明 第2~3週:1章 第4~5週:2章 第6~7週:3章 第8~9週:4章 第10~11週:5章 第12~13週:6章 第14~15週:7章 テスト 第16~17週:8章 第18~19週:9章 第20~21週:10章 第22~23週:11章 第24~25週:12章 第26~27週:13章 第28~29週:14章 第30週:リーディングのまとめ テスト</p>	
<p>【評価方法】 前期、後期の試験(60%)、レポート、単語ノートの提出、出席回数(40%)を総合的に評価する。 授業への出席重視。私語、携帯電話、ガムを噛むなどの行為は一切禁止する。はなはだしい場合には退室してもらい、単位も認めない。</p>	

【授業科目】 総合英語 I-1、2	【担当者】 長尾主税
【開講期】 1年 前期・後期	
【授業目標】 聞き取りをてがかりに、基本的な英語運用能力を養成しなおす。	
【テキスト】 開講時に指示する。	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>大学に入学して、意欲にあふれる時期に、初心に戻って英語の根幹を学んでいただく。切実に英語を学び直したいと願っている人は、積極的に参加していただきたい。最初はわかりきったところからはじめるが、少しずつ難しくなっていくので、気を抜かないこと。</p> <p>最初の数カ月は、基本的な発音、語彙、文法をみっちり詰め込む。説明されたことを理解したら、その場ですぐに使って覚えていく。指示されたことや思いついたことを口に出していってみる。テープによって、発音や基本的な会話のリズムを確認する。いずれも、徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになろう。このようにして基本的な運用能力を高めていく。</p> <p>小テストを行うことによってさらに理解と記憶を確かなものにしていく。</p>	
【評価方法】 平常点および学期末の試験の成績によって評価する。	

【授業科目】 総合英語 I-1、2	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカの衛星放送から現代的で多様性のある話題をとりあげ、リスニングおよびリーディングを中心に英語の基本的技能を、循序渐进することと目標とする。</p>	
<p>【テキスト】 <i>Discover</i> - Exploring a variety of things - 成美堂 ¥1,800</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>教科書は12のunitから構成されている。それらを一年間通して読みながら、身なりの問題英を認識してもらいたい。授業に出席する前に必ず各unitを予習しておくこと。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末テスト、平常のテスト、及び出席日数を総合する。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅰ-1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>リスニングおよびリーディングを中心にして、英語の基本的技能を維持し、向上させていくことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト】 1) Task Listening (KINSEIDO)</p> <p>2) Intermediate Faster Reading (成美堂)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>今までの学習を通して培ってきたはずの英語の基礎知識を確認しながら、実際の場面でも活用できるコミュニケーション能力を、是非少しでも獲得できるような授業をしたいと思っている。</p> <p>また、比較的易しい英文を読んで、短い時間で要点を押さえる練習をしていきたいと考えている。学生には是非毎回の積極的な参加をお願いしたいと思う。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 海外語学研修	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年 前期 (集中)	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリスに約4週間滞在し、生活レベルの英語力を身につけながら、イギリスの文化について学習する。</p>	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>イギリスはリーズ市にあるリーズ・メトロポリタン大学の語学センターで3週間のプログラムに参加する。その間の生活は、ホームステイ。ウィークデイは1日2コマの英語の授業があり、現地の教員が懇切丁寧に指導する。また、世界中から集まる学生達とスポーツやパーティをする機会もあり、英語圏だけではなく、世界を広げることも出きるだろう。週末には、近くにある有名な史跡などを訪ね、イギリスの歴史や文化に親しめる。ロンドン観光を含めて約4週間のイギリス滞在は、英語の見方を変えてくれるかもしれない。</p> <p>出発に向けて、前期に5回、事前指導を行い、パスポートの取得から、渡航手続き、現地での生活の仕方、簡単なサバイバル英会話まで指導します。詳しくは、説明会を行いますので、その場でどうぞ。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>現地での提出物に平常点を加味して評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学 I-1、2 英語	【担当者】 スワン・W・ローレン
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していく。</p>	
【テキスト】 ありません	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>いろいろな分野で使われる言葉の練習もする。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキットを作り、おぼえ、そのあと演じてもらう。</p> <p>以下のような項目にそって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. friendly greetings 2. making choices 3. misplacing and looking for things 4. using things 5. talking about accidents <p>注：<u>このクラスを取る学生は全部のクラスに出席すること。欠席・遅刻については厳しく取り扱う。</u></p>	
<p>【評価方法】 成績の基準はクラスでとれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）を元に付ける。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2 英語

【担当者】 川口淑子

【開講期】 1年 前期・後期

【授業目標】

リスニングや基本的スピーキングも含めて、実用的な英語の運用能力と、英文読解に不可欠な知識をある程度体系的に得ることを目的とする。

【テキスト】 Discover (John S. Lander著、成美堂、1800円)

【参考書】

授 業 計 画

ビデオ教材やテープを多く取り入れ、身近な話題性のあるトピックを扱った英語に毎回取り組む予定。
リスニングなど、読解以外の分野にかなりの比重を置くことになるが、断片的な知識を得ることを目的とするのではなく、特定の状況で英語を理解し、文法にできる能力をホカフラーや聴解力を高めることにより、総合的に向上させてもらいたい。
一人一人の積極的な参加を希望する。

【評価方法】

平常点、レポート、学期末試験などから総合的に評価する。

【授業科目】 選択語学 I-1、2 英語	【担当者】 清野茂子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】 今更身につけた英語力をもとに、新世紀に向けての技術、人間、環境と いった分野における種々な課題を考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】 <i>Progress in our world</i> - Technology, the environment and society -</p>	
<p>【参考書】 三世紀の課題 成美堂 ￥1,700</p>	
授 業 計 画	
<p>22の chapter で細かく分かれているので 受講者の希望で どの chapter から読み出すかを決める。決めたからには授業に お席する前に必ず読んでくること。</p>	
<p>【評価方法】 期末テスト, 平常のテスト, 及び出席日数を総合する</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ-1、2 英語	【担当者】 東郷 裕
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英文のテキストを通じて人間の心理についての基礎的な知識を獲得して欲しい。同時に、人間の心理の興味深さ、またその難しさを読み取り、人種や国境を越えた普遍的な問題として個人個人で考えていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p><i>We're Only Human</i> (三修社)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>基本的にはテキスト中心に授業を行うが、テキスト以外で興味深い題材があれば、随時コピーして配布したい。授業の中では自分の意見や立場、考えなどをはっきりと述べ、議論が活発になることを希望したい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期テストと日ごろの提出物によって評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅰ－1、2英語	【担当者】 磯山 滯一
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>高校英語の復習をしながら、比較的短い英字新聞の記事を多読することで、英語の構文・文法の応用力をつけます。そのことで英字新聞・英語放送を理解する基礎を養います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>新しいニュースを扱うため毎回プリントを配布します。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>「やさしい英字新聞入門」天満美智子，エリック・ヘルトン共著 岩波ジュニア新書</p>	
授 業 計 画	
<p>次のようなテーマの記事をJapan Times, Student Timesなどから抜粋して読むほか、NHKの英語ニュースを扱います。</p> <p>1. 英字新聞の見出しの特徴について 2. 記事本文の特徴について 3. 国内のごく短い記事 4. 海外のごく短い記事 5. 災害 6. 殺人・交通事故などの事件 7. 政治 8. 経済 9. 環境 10. 食品 11. 核・原発 13. 人口・小児化問題 14. いじめ・ボランティアなど教育問題 15. その他</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト，小レポート，出席状況を総合して評価します。</p>	

【授業科目】 選択語学 I - 1, 2 独語	【担当者】 今野 礼子
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>ドイツ語の文法の基礎を日常会話を中心とした練習の中で身につけ、簡単な日常会話ができるようになることをめざします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて指示する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 簡単な日常表現を聞き、理解し、反復し、さらに自己の表現に応用して、対話する練習を積み重ねていきます。 2. ドイツ語圏の生活と文化を学びながら、ドイツ語の教養を広めます。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。</p>	

【授業科目】 選択語学 I-1、2 仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語以外の外国語を大学に入って学ぶことは、心がわくわくするものです。フランス語を共に学びながら、行ったこともないフランスの文化や歴史、フランス人の生活、習慣、考え方を知る喜びを享受してください。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《C' e s t f a c i l e ! 》 角山元保著 三修社</p>	
<p>【参考書】</p> <p>辞書</p>	
授 業 計 画	
<p>◇3限→フランス語の発音、文法を教科書《C' e s t f a c i l e ! 》を使って勉強していきます。</p> <p>◇4限→《B i e n v e n u e e n F r a n c e 》と言うビデオ教材を元にビデオを見ながらフランス語に親しんでいきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点</p>	

【授業科目】 スポーツ (テニス)	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>主にダブルスのゲームを楽しむための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲームによる応用技術、戦術の獲得へと移行し、なるべく早い段階からゲームを行いルール、マナーの理解を深めたい。後半はリーグ戦を行い、より高い技術、戦術の習得とテニスの楽しさを体験してほしい。</p>	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1. オリエンテーションと実習のねらい</p> <p>(1) 実習のねらい、展開、評価などについて</p> <p>(2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明</p> <p>2. 基礎技術、技能の獲得</p> <p>(1) ラケット操作に慣れる、ボールの動きに慣れる</p> <p>(2) ストローク (フォアハンド&バックハンド)</p> <p>サービス (アンダー&オーバー)</p> <p>ボレー (ロー&ハイ)</p> <p>ロビング、スマッシュ等の基礎技術の練習</p> <p>(3) 複合練習と簡易ゲーム</p> <p>3. 講義 (応用技術獲得の手がかりとして)</p> <p>(1) ルール、コートマナー、エチケット及び試合の進め方について</p> <p>(2) ダブルスペアの決定</p> <p>4. ゲーム技術の習得 (主にダブルスゲーム)</p> <p>(1) スポンジボールによるゲーム練習</p> <p>(2) ゲームの実践 (戦術、ポジション、コンビネーション)</p> <p>(3) ゲームの審判法の習得</p> <p>*雨天時には、屋内においてスポンジテニス等を行います。</p> <p>*ラケットは貸し出しますが、持参してもかまいません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>評価点 (40点)... 実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上 (実習初回から終了までの過程における個人の上達度)、ルール、マナーや実習内容の理解度</p> <p>出席点 (60点)... 欠席-10点、遅刻 (15分まで) -5点、早退-5点</p>	

【授業科目】 スポーツ（ダンス）	【担当者】 松村 朋子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>・エアロビクスダンス、フォークダンス、ソシアルダンスなど様々なダンスに触れて、運動不足の解消、運動機能の向上をはかるとともに、楽しみながら運動することを第一目的としてほしい。前半は、多様なダンスの基本的な運動を中心とし、後半は、ダンスプログラムの習得・構成・発表を行う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1、ストレッチ からだ全体を使って、自由に運動できるように柔軟性を高める。 普段あまり使わない筋肉を意識的に動かす。</p> <p>2、基本コンビネーション スキップ、ツーステップ、ターンなど基本的な動きを使った短いコンビネーションを習得する。 フォークダンスやソシアルダンスの簡単な動きを覚えて、繰り返しの動きの楽しさを体験し、リズム感を養う。</p> <p>3、ダンスプログラムの習得 コンビネーションを組み合わせて構成されたプログラム（2分程度）の振付を覚える。</p> <p>4、グループでのダンス構成と実演 習得したダンスプログラムをグループで構成して発表する。ビデオ撮影を行い、クラスで鑑賞する。</p> <p>*運動可能な服装・シューズで授業に出席すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と授業態度（授業への積極性）を特に重視する。作品発表を実技テストとする。</p>	

【授業科目名】 スポーツ（バレーボール）	【担当者】 村田 務												
【開講期】 1年 前期													
<p>【授業目標】</p> <p>バレーボールの技能及び体力の向上をめざすとともに、運動継続への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的技能及び集団的技能 ・ 技能の程度に応じた練習法 ・ 審判法及び指導法 													
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 西川順之助 :バレーボール、成美堂、1995年。 日本バレーボール協会：バレーボールルールブック、2001年度版。</p>													
授 業 計 画													
<p>科学技術の進歩や経済の成長、社会構造の変化に伴い、運動の不足や食行動の偏り、精神的ストレスの増加など、健康に悪影響を及ぼす様々な問題が生じている。このような状況の中で、注目されているのが生涯体育（運動及びスポーツ）である。適切な身体活動は、疾病の予防や健康増進に寄与するだけでなく、生き甲斐や自己の確立など質的な生活の向上を可能にする。バレーボールは、場所や設備、体力的側面からみて、比較的容易に継続して活動することが可能なスポーツである。</p> <p>授業では、これらの観点から、将来にわたってバレーボール運動が継続できるように、「楽しい授業」、「技術の向上がわかる授業」、「自ら創りだす授業」をめざす。</p> <p><u>学習内容</u></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">① 個人的技能</td> <td>・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング</td> </tr> <tr> <td>② 集団的技能</td> <td>・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり</td> </tr> <tr> <td>③ 指導技術</td> <td>・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法</td> </tr> </table> <p><u>授業の流れ</u></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">① 全体活動</td> <td>・ 共通課題の解決</td> </tr> <tr> <td>② グループ活動</td> <td>・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得</td> </tr> <tr> <td>③ ゲーム</td> <td>・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得</td> </tr> </table>		① 個人的技能	・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング	② 集団的技能	・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり	③ 指導技術	・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法	① 全体活動	・ 共通課題の解決	② グループ活動	・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得	③ ゲーム	・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得
① 個人的技能	・ パスとトス ・ サーブとレシーブ ・ スパイクとブロッキング												
② 集団的技能	・ 攻めと守りのフォーメーション ・ トスゲーム、3段攻撃ゲーム、ルールづくり												
③ 指導技術	・ 技術指導法 ・ 体力トレーニング法 ・ 審判法												
① 全体活動	・ 共通課題の解決												
② グループ活動	・ 班別課題の練習と解決 ・ 指導法、練習法の習得												
③ ゲーム	・ 練習成果の確認 ・ 新しい課題の発見 ・ 審判法の習得												
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（平常点、実技等）、意欲と活動参加を重視する。</p>													

【授業科目】 スポーツ (バレーボール)	【担当者】 池森隆虎
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 6人制のゲームを楽しめるための技術、戦術、ルール、マナー等を身につける。 前半は初心者を対象にした基礎的な技術のレッスン、ミニゲーム、ソフトバレーボール等による応用技術、戦術の獲得へと移行し、早い段階からゲームを行い、ルール、ポジションの理解を深めたい。後半はリーグ戦を行い、バレーボールの楽しさを体験してほしい。	
【テキスト】	
【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと実習のねらい <ol style="list-style-type: none"> (1) 実習のねらい、展開、評価などについて (2) 基本用語、基礎技術、ルール等の説明 2. 基礎技術、技能の獲得 <ol style="list-style-type: none"> (1) ボールに慣れる、ボールの動きに慣れる (2) 基本動作の練習 レシーブ (オーバー&アンダー)、スパイク、サービス (3) 複合練習と簡易ゲーム 3. 講義 (応用技術獲得の手がかりとして) <ol style="list-style-type: none"> (1) ルール、マナー及び試合の進め方について (2) 戦術、ポジションニングの反省 4. ゲーム技術の習得 (6人制) <ol style="list-style-type: none"> (1) ソフトバレーボールによるゲーム練習 (2) ゲームの実践 (戦術、ポジション、コンビネーション) (3) ゲームの審判法の習得 	
【評価方法】 評価点 (40点)... 実習参加への積極性、協調性、個人技能の向上 (実習初回から終了までの過程における個人の上達度)、ルール、マナーや実習内容の理解度 出席点 (60点)... 欠席-10点、遅刻 (15分まで) -5点、早退-5点	

【授業科目】 スポーツ（トランポリン）	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・運動技能と知識の習得。 	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、トランポリンを行なう前のルール説明 2、トランポリンの移動方法 3、トランポリンの準備と片付け方（組み立てとたたみ方） 4、トランポリンへの上り方、降り方 5、トランポリンに慣れるための練習 6、垂直跳びとジャンプの止め方（チェックバウンス） 7、技能練習 <ul style="list-style-type: none"> ・かかえ跳び ・開脚跳び ・閉脚跳び ・腰落ち（シートドロップ） ・ひざ落ち（ニーズドロップ） ・手つきひざ落ち（ハンズ アンド ニーズドロップ） ・腹落ち（フロントドロップ） ・腰落ち—$\frac{1}{2}$捻り—腰落ち（スイブルヒップス） ・開脚跳び—腰落ち ・前方宙返り—腰落ち 8、連続技の練習 	
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点（出席と危険もともなうので授業態度重視） ・授業中に実技テストを実施する。 	

【授業科目】 スポーツ (バドミントン)	【担当者】 岡田光弘
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>まったくの初心者でも自分たちだけでゲームができるようになる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に、指定 しません。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>特に、指定 しません。</p>	
授 業 計 画	
<p>1. フォアハンド</p> <p>2. バックハンド</p> <p>3. サーブ, レシーブ</p> <p>4. クリア</p> <p>5. ドライブ</p> <p>6. ヘアピン</p> <p>7. スマッシュ</p> <p>以上の技術をミニゲーム, 球出し, 打ちあい等により、習得する。</p> <p>シングルス, ダブルスのゲームをおこなう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。技術, 知識 態度という観点で評価する。</p>	

【授業科目名】 健康科学	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間性豊かで健康的な生活を確立するために必要な知識と態度、及び諸能力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の健康問題と健康に対する考え方について ・健康の成り立ちと、健康が崩される背景と要因について ・健康の設計と処方（健康な生活を営むのにはどのようにすればよいか）について 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト 村田務：健康科学入門、2001年版。</p> <p>参考書 宇土正彦・正木健雄監修：青年の健康と運動、現代教育社、1995年。 国立大学等保健管理施設協議会編：学生と健康、南江堂、1996年。他</p>	
授 業 計 画	
<p>人間性豊かで健康的な生活を営むためには、健康問題の本質を正しく捉え、解決に向けての適切な判断力と実践的な行動能力が必要となる。また、今日の健康問題は、その多くが社会的な環境に大きな影響をうけている。そして、その解決には、人間の生物学的側面はもとより、行動学的側面や環境的側面、保健医療体制的側面を抜きにしては考えられない。</p> <p>授業では、このような健康観に立って行動学的側面を中心に、疾病予防と健康増進の学問としての、健康科学の知見や考え方について解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、健康科学でめざすものの概念 2、今日の健康問題 3、疾病の疫学と健康の成立条件 4、主体・環境と健康との関わり 5、保健行動が健康に与える影響 6、健康を支える保健医療体制 7、健康問題Ⅰ（アレルギー） 8、健康問題Ⅱ（ストレスと精神的健康、ダイオキシンと環境ホルモン） 9、健康問題Ⅲ（生活習慣病：がん、脳卒中、虚血性心疾患、糖尿病、肥満） 10、健康問題Ⅳ（薬害：サリドマイド、スモン、エイズ） 11、健康生活の設計と処方の仕方 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（2回のペーパーテスト、学習意欲を重視する。）</p>	

【授業科目】 スポーツ科学

【担当者】 岡田光弘

【開講期】 1年 前期

【授業目標】

スポーツを諸科学(物理学,化学,生理学,心理学,社会学^等)
の視角から理解し,さまざまな実践に役立てること

【テキスト】

特に指定しません

【参考書】

特に指定しません

授 業 計 画

スポーツと関わる諸科学

1. 物理学

2. 化学

3. 生理学

4. 工学

5. 心理学

6. 社会学

7. 哲学

etc.

の知見について,主にビデオ教材を用いて
解説する。

【評価方法】

出席を重視する。授業ごとのレポート,学期末のレポートを評価する。

專門教育科目（1年）

【授業科目名】 心理学概説	【担当者】 専任教員
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学という学問の歩みや基本的な考え方を学びます。また、これから勉強していく心理学の各分野を概観します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>【参考書】</p> <p>個々の授業の中で紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学の歴史と基本的立場-----金子 2. 知覚心理学-----金子 3. 実験心理学-----多喜乃 4. 学習心理学-----荻野 5. 発達心理学(青年心理学)-----林 6. 人格心理学-----金 7. 臨床心理学-----林 8. 健康心理学-----金 9. 生理心理学-----多喜乃 10. 社会心理学-----倉澤 11. 心理学の研究法-----荻野 12. 心理学と社会-----倉澤 	
<p>【評価方法】</p> <p>出欠席と期末試験(マークシートによる客観テストを予定)により評価します。</p>	

【授業科目名】 発達心理学 I	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1 年前期	
【授業目標】 発達心理学 I は乳幼児期と児童期を対象とする。特に、その心理的発達の側面、知的発達、感情的・情緒的発達、社会性や自我の発達を、多くの実証的研究と知見をもとにたどって行く。	
【テキスト】 武藤 隆・久保 ゆかり・遠藤 利彦著 「発達心理学入門」 岩波書店	
【参考書】 「発達心理学入門 I」 武藤・高橋・田島編 東京大学出版 「発達心理学への招待」 落合正之行他 サイエンス社	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児の知的世界 乳児の基本的能力 乳児の世界の広がり 言語の獲得 2. ことばと認識 記憶と思考の発達 さまざまな世界の認識の発達、拡大 3. 親子関係から仲間関係へ 愛着の成立と発展 親子関係と仲間関係のつながり 4. 情動の発生と自己の成長 情動の発生 自己の発達と情動 自他の理解と自律性 5. 学校生活と対人関係の発達 学校への移行 対人関係の発達と自他理解の進歩 6. 科学性の成長 科学的思考の成立 社会についての理解の成立 	
【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。	

【授業科目】 知覚心理学	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1 年 後期	
【授業目標】 感覚器官の働きに関する知識を深め、視覚刺激や聴覚刺激がどのように取り込まれるのか、取り込まれた刺激はどのように知覚されるのかといった事柄を理解し説明できるようになることを目標とする。具体的には3D図版や映画、遊園地の疑似宇宙旅行の仕組みの説明や、「なぜ、地平線近くの月が大きく見えることがあるのか」といった疑問に答えられるようにする。	
【テキスト】 「最後まで読める心理学」 プレーン出版 著者：金子尚弘・神田信彦・倉澤寿之	
【参考書】 授業の進行に応じて紹介する。	
授 業 計 画	
<p>1、知覚とは何か？ スライドとビデオ「感覚と知覚」 知覚のさまざまな例を、スライドとビデオで学ぶ。</p> <p>2、幻覚、幻視、幻聴、錯覚、錯視。ビデオ「INFINETE ESCHER」 私たちは、実際にあるものをその通り知覚しているわけではない。</p> <p>3、感覚器官と感覚刺激の話――視覚。ビデオ「感覚器の構造と働き」 我々にとって最も重要な感覚である視覚について理解する。</p> <p>4、色の知覚、ビデオ「Colour」 色の光学的性質や弁別や錯覚など、色の知覚について学ぶ。</p> <p>5、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚、体制感覚、時間感覚 視覚以外の感覚器と、音、味、匂いの性質やその知覚について学ぶ。</p> <p>6、錯視の種類とそのメカニズム。ビデオ「視覚的錯覚と知覚過程」 錯視の現象だけを取り上げて、その原因を分類し知覚について考える。</p> <p>7、知覚理論、ギブソンの考え方とニュールックの考え方。ビデオ「万全の着陸と知覚」 さて、知覚とはどのようなことなのかを理論的にまとめてみる。</p> <p>8、知覚の情報処理。 我々は、どのようにして外界を知覚しているのだろうか。</p> <p>9、知覚メカニズムのシュミレーション。 私たちと同じような知覚メカニズムを、コンピュータがまねできるだろうか。</p> <p>10、音の知覚、音源定位と聴空間の知覚 音の知覚や、音源定位を実際に体験する。</p> <p>11、味と匂いの知覚、時間の知覚 味、匂い、時間の知覚を実際に体験する。</p> <p>12、精神物理学的測定法、官能検査、域値、感覚尺度 知覚の測定方法や、実際生活での応用分野について学ぶ。</p> <p>その他、ビデオ「ビジュアルイリュージョン」「開眼手術―初めて見る世界―」</p>	
【評価方法】 平常授業期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。	

【授業科目名】 学習心理学 I	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 人間の行動も動物の行動もたくさんの類似点があります。また反対に、身近の観察から、人間と動物の違い、あるいは個人差があることに気が付くでしょう。この授業では、行動が学習されていく過程を理解しながら、私たちの考えがどのように変化するのか、行動、思考、言葉の間にどのような関係があるのかを勉強します。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>「最後まで読める心理学」 ブレーン出版 著者：金子尚弘・神田信彦・倉澤寿之</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>この授業では、学習について主に行動について考えていくことにします。 行動について次のことを考えてみます</p> <ol style="list-style-type: none"> ① どの生物にも共通の基本的な行動はなにか ② 個人ごとの行動の差はどのようにして生まれるのか ③ 場所や相手ごとの行動の差はどのようにして生まれるのか <ol style="list-style-type: none"> 1、生まれながらにある基本的な行動 2、行動の共通点と個人差 3、行動獲得のメカニズム ——条件づけ—— <ol style="list-style-type: none"> 1) レスポンデント条件づけ (パブロフの条件づけ) <ol style="list-style-type: none"> (1) 条件づけの測り方 (2) 刺激の時間関係 (3) 般化と分化 (4) 消去と自然的回復 (5) 2次条件反応 (6) 条件性情動反応 2) オペラント条件づけ ——弁別刺激、行動、強化—— <ol style="list-style-type: none"> (1) 弁別刺激による行動のコントロール (2) 強化と罰 (3) 無条件強化子と条件性強化子 (4) 行動の原因 (5) 強化のスケジュールと行動の維持 (6) 行動が変わる、行動が消える ——消去—— 4、問題のある行動を変える ——行動修正の基本的考え方—— 5、教育や療育への応用 	
<p>【評価方法】</p> <p>適宜小テストを行う。期末には平常授業期間内にテストを行い最終的な学習成果を評価する。</p>	

【授業科目名】 学習心理学Ⅱ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 思考および記憶に関する多くの実験的研究を通して明らかにされた事実や理論を紹介する。思考については、特にことば、概念の獲得、推理の発達的变化の過程を見ていく。また、記憶については、記憶の過程、記銘する材料、時間的要因、個人の持っている知識等と記憶の関係等を考える。	
【テキスト】 「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著 サイエンス社	
【参考書】 「新思考心理学入門」 R. E. メイヤー著 サイエンス社 教育心理学講座2「学習」 大村彰道編 朝倉書店 学習心理学 梶田正巳・大田信夫編 福村出版	
授 業 計 画	
1. 問題解決と推理 問題解決過程にたいする3つの異なるアプローチ 認知の発達 演繹的推理と機能的推理 創造性（ 2. 概念過程と言語の獲得 概念の構造と概念学習 言語の獲得と思考 3. 記憶と忘却 記憶とは何か 記憶の研究法（記銘材料と測定法） 短期記憶と長期記憶 忘却 記憶術 4. 有意味材料の記憶 エピソード記憶と意味記憶 記憶の変容	
【評価方法】 定期試験にペーパーテストを行う。	

【授業科目】 人格心理学	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 「人格とは何か?」, 「人格心理学の分野では何を研究しているのか?」, 「人格心理学での研究はどのような貢献をしているのか?」, などをキーワードにし, 人格心理学を概観する。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 大貫敬一・佐々木正宏(編著) パーソナリティの心理学 福村出版 野口京子(著) 人格心理学 明星大学出版部 青柳肇・杉山憲司(編著) パーソナリティ形成の心理学 福村出版</p>	
授 業 計 画	
<p>人格心理学は、「人間の適応に人格がどのようにはたらくのか」、また、「如何にして人格が形成されるのか」など、人格の役割と形成過程を研究する心理学の一領域である。</p> <p>授業は大まかに次のような順に進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人格の定義 2) 人格の捉え方: 類型論と特性論の各論 3) 各学派における人格の理解: 精神分析的・現象学的・行動論的 4) 人格の形成と発達 5) 人格における健常と異常の様相: 人格障害とその治療 	
<p>【評価方法】 出席率, 筆記試験</p>	

【授業科目名】 生理心理学	【担当者】 多喜乃 亮介																														
【開講期】 1年 後期																															
【授業目標】 心とそれを成立させる脳活動の関係について学習する。心を直接目で見ることができないが、その背後にあって働く脳の活動は観察できる。心臓が高鳴ったり、冷や汗をかくといった身体に表れる生理学的変化も脳を中心とした神経活動を通して現れている。こうした観察可能な活動を通して心の働きとその特徴を理解する。																															
【テキスト】 プリントを配布する																															
【参考書】 時実 利彦，岩波新書『脳の話』，岩波書店，1962年																															
授 業 計 画																															
<p>以下の項目にしたがって進める</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">1.</td> <td style="width: 40%;">心の座</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>機能局在の考え方</td> <td>骨相学，言語野の発見，動物実験</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>大脳半球の働き 1</td> <td>感覚野，運動野</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>大脳半球の働き 2</td> <td>連合野，失認，失行，失語</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>神経細胞の働き</td> <td>ニューロン，活動電位，シナプス，神経伝達物質</td> </tr> <tr> <td>6.</td> <td>脳の構造と基本機能</td> <td>脳幹，間脳，基底核，辺縁系，大脳皮質</td> </tr> <tr> <td>7.</td> <td>脳の左右差と言語機能</td> <td>言語野，分割脳実験</td> </tr> <tr> <td>8.</td> <td>記憶と脳</td> <td>技の記憶，知識，エピソード記憶，健忘</td> </tr> <tr> <td>9.</td> <td>感情・情動と脳</td> <td>自律神経系，内分泌系，不安，報酬，薬物</td> </tr> <tr> <td>10.</td> <td>前頭連合野の機能</td> <td>前頭葉症状，反応抑制，遅延反応，作業記憶</td> </tr> </table>		1.	心の座		2.	機能局在の考え方	骨相学，言語野の発見，動物実験	3.	大脳半球の働き 1	感覚野，運動野	4.	大脳半球の働き 2	連合野，失認，失行，失語	5.	神経細胞の働き	ニューロン，活動電位，シナプス，神経伝達物質	6.	脳の構造と基本機能	脳幹，間脳，基底核，辺縁系，大脳皮質	7.	脳の左右差と言語機能	言語野，分割脳実験	8.	記憶と脳	技の記憶，知識，エピソード記憶，健忘	9.	感情・情動と脳	自律神経系，内分泌系，不安，報酬，薬物	10.	前頭連合野の機能	前頭葉症状，反応抑制，遅延反応，作業記憶
1.	心の座																														
2.	機能局在の考え方	骨相学，言語野の発見，動物実験																													
3.	大脳半球の働き 1	感覚野，運動野																													
4.	大脳半球の働き 2	連合野，失認，失行，失語																													
5.	神経細胞の働き	ニューロン，活動電位，シナプス，神経伝達物質																													
6.	脳の構造と基本機能	脳幹，間脳，基底核，辺縁系，大脳皮質																													
7.	脳の左右差と言語機能	言語野，分割脳実験																													
8.	記憶と脳	技の記憶，知識，エピソード記憶，健忘																													
9.	感情・情動と脳	自律神経系，内分泌系，不安，報酬，薬物																													
10.	前頭連合野の機能	前頭葉症状，反応抑制，遅延反応，作業記憶																													
【評価方法】 筆記試験																															

【授業科目】 基礎技法演習	【担当者】 小林 玄
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>①科学レポートのまとめ方 ②考察力の向上。 以上2点の修得を目標として進めていきます。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 授業の中で適宜紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>心理学の研究を進めていく上で、研究の内容をレポートや論文にまとめることは欠かせないことです。</p> <p>本演習では、科学レポートのまとめ方の基礎を学び、実際の課題を通してレポートを作成することに慣れていただきます。</p> <p>また、併せて研究内容、研究結果の考察の深め方、参考文献の集め方、などにも言及していきたいと考えます。</p>	
<p>【評価方法】 授業中の小レポート及び定期試験により評価。 出席も重視します。</p>	

【授業科目名】 心理学演習 I	【担当者】 荻野、金子、多喜乃、倉沢、金、中丸、高橋、富田
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】 基礎的な心理学実験に参加し、実験者と被験者の両者を体験することから、実験心理学的な問題設定がどこにあり、人のどのような側面について検討を加えているのかを理解し、データに基づいて考察を進める態度を学ぶ。同時に、実験的手法、データの収集と処理法、数量化や図式化、レポートのまとめ方、などを習得する。</p>	
<p>【テキスト】 「実験演習の手引き」と、各実験毎に実験方法とデータ整理方法などをまとめたプリントを配布。</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>各クラスは4グループ（1グループ15～16）に別れ、授業時間内に終了するように計画された基礎実験を行う。</p> <p>実験は担当教員から実験の目的、方法について説明を受けた後、互いに実験者と被験者となって実験を行い、実験データを作る。その後、担当教員からデータの処理法、考察の要点等、レポートの作成に必要な要点についての説明を受け、次回の実験の前日までに各自レポートを書き、提出する。</p> <p>実験は、1回の授業枠で終了する比較的簡単なもの（実験A）と、条件設定がやや複雑になったり、データの量が大きくなったりするため2週にわたって行われるもの（実験B）から構成され、実験の順序はグループによって異なる。</p> <p>実験の種類（予定 変更の可能性あり）</p> <p>導入実験：ミュラー・リヤーの錯視 触2点弁別 実験A：鏡映描写 大きさの恒常 色名呼称 情報の伝達と変容 実験B：反応時間 要求水準</p> <p>クラス別け、実験日程、実験室・教室等は、授業の第1回の時にプリントを配布し、説明する。</p>	
<p>【評価方法】 定期試験は行わない。平常時に提出した全レポートの点に基づいて評価をする。</p>	

【授業科目名】 心理学演習Ⅱ	【担当者】 荻野、金子、多喜乃、倉沢、金、中丸、高橋、富田
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 演習Ⅰでは実験室での基礎実験を中心としたが、演習Ⅱでは課題に広がりを持たせて演習時間を長くとり、動物実験のほか、実験室に限定されない場面での調査や心理テストなども行う。</p> <p>調査では、こうした手法が恣意的なものにならないための工夫や代表的なデータ化の手法、心理テストではその実施方法と判定・診断法等を学習する。また、動物実験を経験し、人間以外の動物と比較しながら人の行動を理解するアプローチを学習する。</p>	
<p>【テキスト】 各実験毎に実験方法、データの処理方法、実験結果についての考察の要点などをまとめたプリントを配布する。</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>心理学演習Ⅰと同様、各クラス4グループに別れて行う。演習Ⅰと異なり、4つの主要な実験（調査等を含む）は2週を単位として行われる。 ほかに1週間単位の心理テストを2種類行う。 各実験、各心理テストについてレポートを作成し、提出する。</p> <p>演習Ⅰと異なり、授業時間外での実験や、データの収集も行われる。また、後期授業終了後に行われる、2年生の卒業研究発表会に出席しなければならない。</p> <p>実験等の種類（予定 変更の可能性あり）</p> <p>実験／調査：オペラント条件づけ 項目分析 SD法 他 心理テスト：YG性格検査 内田クレペリン精神検査</p>	
<p>【評価方法】 定期試験は行わない。平常時に提出した全レポートの点に基づいて評価をする。</p>	

授業科目 心理学総合演習	担当者 林 潔
開講時期 1年後期	
授業目標 英文の心理学のテキストに親しむこと	
テキスト Copyをお渡しします。	
参考書 なし	
授 業 計 画	
<p>Australia の高校生向けの心理学のテキストを copy します。</p> <p>1.Normality and abnormality Defining abnormal behaviour Explaining and treating abnormal behaviour Modern views of abnormal behaviour</p> <p>2.Intelligence What is intelligence Is there a general factor of intelligence? How is intelligence measured? What is an IQ? How are IQ scores distributed in the population? Is there a genetic basis for intelligence?</p> <p>3.Personality Type theories of personality Trai theories of personality</p>	
評価方法 基本的には授業参加の度合いで評価します。	

【授業科目】 心理学総合演習	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>研究論文の読解能力を養う</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>資料配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>近年臨床心理学の領域で注目を集めている様々な精神障害に関する 幾つかの臨床心理学分野の研究論文を取り上げ、それを読解する ことによって、人格障害に関する基礎知識を習得するとともに、 臨床心理学的な研究の進め方を学ぶ。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数、討論への参加度、個人テーマのレポート</p>	

【授業科目】 心理学総合演習	【担当者】 池田善英
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>①心理学の考え方や方法について、基礎的な知識を得る。 ②文献の内容を報告するための、基礎的な技術を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>山岸 俊男 著 「社会的ジレンマ」(PHP新書)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>電車の中で携帯電話の電源をOFFにしておけば、誰もが快適に過ごせます。特にペースメーカーをつけている人のことを考えれば、大切なことです。しかし電車に乗り降りするたびに電源のOFFとONとを繰り返すのは、面倒くさいでしょう。他の乗客も同じようにしないなら効果は薄いし、自分だけが我慢するのばかばかしく思えてきます。</p> <p>人々が自分の利益や都合だけを考えて行動すると、社会的に望ましくない状態が生まれることがあります。社会的に望ましい状態を保つためには、人々は多少の負担や我慢をしなければいけません。これを社会的ジレンマと呼びます。このような問題についてテキストでは、社会心理学の立場から検討しています。</p> <p>学生の皆さんはテキストに書いてあることを、身近な経験と照らし合わせながら読んで下さい。その内容で納得のいくこともあるでしょう。しかし鵜呑みにしてはいけません。「ちょっと違うな」と感じることを探し、どこがどう違うのかを明らかにするよう考えてみて下さい。</p> <p>テキストを読み進めるに当たって、まず始めは全員で輪読していきます。受講生の皆さんがある程度慣れたところで、分担しながらレジメに基づいて報告してもらうようにします。まず自分が深く理解し、ポイントをまとめ、聞き手の立場にたって、分かりやすく説明して下さい。</p> <p>なお時間の制約があるため、テキストの全てに触れることは難しいと思います。一方で必要に応じて、関連する学術論文など、テキスト以外の資料も紹介したいと思います。また理解を深めるために、テキストや資料を読むだけでなく、簡単な実験を行うことも検討しています。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①レポート ②平常点</p>	

【授業科目】 心理学総合演習	【担当者】 高橋浩子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1 心理学の基礎知識の習得。 2 ライフサイクル上における危機とそのサインとしてあらわれる症状について学ぶ。 3 臨床においてクライアントと接する時必要となる「傾聴」について学ぶ</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを用意します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業では、ライフサイクル上の課題と、各段階で臨床的に生じやすい問題についてあつかいます。またそのような問題がなぜおこるのかについても考えてみたいとおもいます。同時に、実際には、クライアントの話の聞くと言うのはどういうことなのか、基本的な共感とは何なのかについても事例を通して学んでいきます。取り上げる事例は、女性に関するものがおおいので自分自身の問題について考えるきっかけになることと思います。</p> <p>幼児期 母親と子供の関係 虐待をする親 虐待を受けた子供 児童期 学校生活 家族 友人 思春期 反抗期 心と体の変化 青年期 ささまざまな将来の選択肢 自立 成人期 仕事, 結婚, 家族を持つこと, 離婚 自殺 心中 喪失体験 中年期 心身の変化 空の巣症候群 アルコール依存症 老年期 老化とはいったいなにか 周囲との関係や役割の変化</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点 レポート</p>	

【授業科目名】 心理統計Ⅰ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解する。 記述統計学の習得。電卓の有効な操作と、統計値の求め方の習得。	
【テキスト】 テキストとして下記のものを用いる。 <p style="text-align: center;">「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 (サイエンス社)</p> <p style="text-align: center;">6章まで 7章以降は心理統計Ⅱで使われる。</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1章 統計法と測定値</p> <p>2章 度数分布と統計図表</p> <p>3章 中心傾向の測度</p> <p>4章 得点の散布度</p> <p>5章 正規分布と相対的位置</p> <p>6章 直線相関と直線回帰</p> <p>授業では電卓を用いる。使用する電卓は、数値を入力することによって簡単な統計値を算出することのできる機能を持ったものであり、機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに、指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。 電卓は心理学演習等、他の授業でも使われる。また、試験の際にも使うことができる。</p>	
【評価方法】 中間試験に定期試験にペーパーテストを行う。	

【授業科目名】 心理統計 I	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解させる。特にこの授業では、記述統計学の習得に重点を置くとともに、電卓の使用法も併せて習得する。</p>	
<p>【テキスト】 授業で使用する電卓の機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。電卓は他の授業でも頻繁に用いる。</p>	
<p>【参考書】 「心理・教育のための統計法〈第2版〉」 山内 光哉著 サイエンス社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について 統計計算機の使い方 2、統計法と測定値 さまざまな変数、測定操作、加算記号とその規則 3、度数分布と統計図表 量的変数における級間の幅と級間数の決め方 質的変数の度数分布 4、度数分布図と統計図表の書き方 質的変数の図示法、量的変数の図示法、統計図表の書き方、見方 5、中心傾向の測度 測度とは――平均値、中央値、最頻値 測度の比較、調和平均 6、得点の散布度 散布図の概念、四分領域、分散と標準偏差 質的データの散布度 7、正規分布と相対的位置 正規分布、標準正規分布、z値、パーセンタイル点 8、直線相関と直線回帰 2変数の相関と回帰 相関係数と決定係数 相関と予測、回帰と推定 	
<p>【評価方法】 毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。参考書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。</p>	

【授業科目名】 心理統計Ⅱ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 心理学の実験や調査によって得られるデータは、母集団から得られる標本であるという認識を確立させ、得られたデータから結論を導くための統計的手法（推測統計学）を習得する。	
【テキスト】 テキストとして下記のものを用いる。 <p style="text-align: center;">「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 （サイエンス社） 7章以降</p>	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>7章 母集団と標本</p> <p>8章 統計的仮説の検定と区間推定 理論と用語</p> <p>9章 2つの平均の差の検定と区間推定</p> <p>10章 分散分析入門 1要因の場合 (11章 より複雑な分散分析 要因計画)</p> <p>12章 カイ2乗検定 (13章 順位による統計法) (14章 ピアソンの r の検定と種々な相関係数)</p> <p>8、9、10、12章を重視して授業を行い、11、13、14章は授業の進行に応じて行う。</p>	
【評価方法】 中間試験と定期試験にペーパーテストを行う。	

【授業科目名】 心理統計Ⅱ	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1 年 後期	
<p>【授業目標】 心理学の実験や調査で使われる基礎的な検定について、その考え方や、用い方についての簡単な知識と、計算方法や統計表の使い方が確実に獲得できるよう、毎回テストを実施して忘れないようにする。計算方法を記憶する必要はないので、方法を忘れても参照すべき箇所を的確に探し出せるようにすることを目標とする。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 「心理・教育のための統計法〈第2版〉」 山内 光哉著 サイエンス社</p>	
授 業 計 画	
<p>1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について話し、前期の復習として、独立変数－依存変数、質的変数－量的変数、正規分布、標準偏差と不偏標準偏差、統計の記号統計計算機の使い方などについて確認する。</p> <p>2、母集団と標本 母集団とは何か、標本抽出の意味と方法、母集団と標本の統計量標準誤差－抽出された標本は毎回誤差がでること、誤差は特定の分布をすること</p> <p>3、統計的仮説の検定と区間推定 統計的仮説、仮説による検定、統計的判断の基準、検定の方向性 母分散がわかっている場合の仮説検定 母分散がわからない場合の仮説検定、自由度とは何か 平均値の区間推定－母集団の平均値はどれくらいか</p> <p>4、2つの平均値の差の検定と区間推定 独立と考えられる2つの標本の平均値の差の検定と区間推定 関連している2つの標本の平均値の差の検定と区間推定</p> <p>5、分散分析入門－1要因の場合 分散分析における仮定 2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が同じ場合） 2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が異なる場合）</p> <p>6、より複雑な分散分析－1要因計画 要因が2つ以上ある場合と要因計画、要因の相互作用と結果の解釈</p> <p>7、カイ2乗検定 カイ2乗を用いたさまざまな検定 独立性の検定－生まれ順は政治的態度と関係があるか 比率の等質性の検定－2つの集団の年齢分布は等しいか</p>	
<p>【評価方法】 毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。参考書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。</p>	

【授業科目名】 情報処理Ⅰ	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 コンピュータ利用の初歩を学びます。ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メールの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざします。	
【テキスト】 安達一寿他著「これからの情報リテラシー—課題で学ぶ基礎的情報処理—」 樹村房 (情報処理Ⅰ・情報処理Ⅱ・情報検索演習と共通)	
【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・キーボードリテラシーの養成 2. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールの仕組み ・電子メールによる情報交換 ・World Wide Webによる情報の探索と提供の基本 3. コミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ワードプロセッサの編集機能の活用 ・情報の保存と活用 ・思考ツールとしてのワードプロセッサの活用 ・プレゼンテーションツールの活用 	
【評価方法】 課題をネットワーク経由で提出してもらいます。	

【授業科目】 情報処理 I	【担当者】 丸山 有紀子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>電子メール、インターネットによる情報検索の実習を通して、ネットワークを利用して情報を収集する技術を学ぶ。また、ワープロソフトを使つての文書作成・編集を通して情報をわかりやすく表現する技術を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">これからの情報リテラシー (樹村房)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータを使い始めるにあたっての説明 コンピュータの各部分の名称、使い方の説明。 ログオンとログオフ、IDとパスワード。 2. 文字の入力 漢字変換、カタカナ、アルファベットの入力の仕方。 簡単な文章の入力。 3. ネットワークの活用 WWWによる情報検索、電子メールの利用。 4. ワープロソフトの利用 文字の挿入、削除、移動。 文書の保存、呼び出し。 印刷の仕方、印刷スタイルの設定。 文字サイズ、文字飾りなど。 5. ビジネス文書の作成 ビジネス文書の形式。 6. ビジュアルな文書の作成 文書中への図・絵の取り込み。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席および授業中に行う課題。</p>	

【授業科目】 情報処理Ⅱ	【担当者】 丸山 有紀子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>表計算ソフトを使った実習により、データを表に整理し、処理、グラフ化することにより、数値データをわかりやすく表現する。データベース機能を使い、収集したデータを有効に活用することを学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">これからの情報リテラシー (樹村房)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの使い方 用語の解説、基本的な操作、データ入力の仕方。 2. データ入力 数値データの入力、計算（算術関数など）、罫線、セルの形式。 ワークシートの保存。 印刷。 3. グラフ作成 グラフの表示、グラフの種類、グラフの編集。 グラフの印刷。 4. データ処理 統計関数。 t検定、相関係数の計算。 5. データベース作成 データベースの説明。 データの入力。 データの並べ替え、データの抽出。 6. ワードプロソフトとの連携。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席および授業中に行う課題。</p>	

司書科目（1年）

【授業科目】 生涯学習概論	【担当者】 中嶋みさき
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】 教育の荒廃がいわれる現代では、改めて「教育」と「学習」との関係が問われている。この講義では、生涯学習とは何か、という問題を、教育思想の歴史的展開をおいながら、生活スタイルの歴史的変化などとあわせて検討し、生涯学習に関する基本的考え方を学ぶことにする。また生涯学習の具体的課題として、現在すすめられている教育政策をとりあげ、日本の現代社会における生涯学習の現状を明らかにし、参加者ととともに生涯学習のあり方について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】 特になし。</p>	
<p>【参考書】 教育科学研究会・社会教育推進全国協議会編『教育、地方分権でどうなる』国土社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1, 生涯学習とは何か。</p> <p> a) 「学習」概念の成立とその歴史的展開</p> <p> b) 生活スタイルの変化と人間形成</p> <p>2, 生涯学習の具体的な課題</p> <p> a) 教育基本法の理念と生涯学習</p> <p> b) 生涯学習の機会と制度</p> <p> c) 男女共同参画社会と生涯学習</p> <p>3, 「教養」の形成と生涯学習</p> <p>講義計画は、大きなテーマを中心としており、小項目については変更もありうる。</p>	
<p>【評価方法】 評価は、学期末のレポートを基本にするが、出席、講義内での簡単なレポートを参考に する。</p>	

【授業科目】 図書館概論

【担当者】 石田栄美

【開講期】 1年 前期

【授業目標】

図書館についての基本的ことから学び、基礎的知識を身に付ける。
これを通じて、図書館の在り方、その将来について考える。

【テキスト】

使用しない。

【参考書】

授 業 計 画

- 1 図書館の意義
 - ・ 図書館の定義
 - ・ 図書館の意義
 - ・ 図書館と社会
- 2 図書館の機能
- 3 図書館の構成要素
 - ・ 図書館資料
 - ・ 図書館職員
 - ・ 図書館施設
 - ・ 図書館利用者
- 4 図書館の種類
 - ・ 国立図書館
 - ・ 公共図書館
 - ・ 大学図書館
 - ・ 学校図書館
 - ・ 専門図書館
 - ・ その他の図書館
 - ・ 図書館類型機関
- 5 図書館の展望

【評価方法】

授業参加度による平常点、テストの総合判定

【授業科目】 図書館経営論	【担当者】 西村 汎子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯学習にたいする国民の意識の高まりと、増大する図書、および情報ネットワークの拡大は、図書館の役割をますます大きくしている。新時代にふさわしい明日の図書館をつくるために、図書館員は自分たちの図書館をどのように位置づけ、どのように運営してゆくべきかについて学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『図書館・情報センターの経営』 (けい草書房 情報学シリーズ4)</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館が学校・大学・研究機関および市民社会の中で教育・研究と文化の向上のために十分に効力を発揮するためには、館員自身が日常業務の中に埋没することなく、一定の理念のもとに、その図書館が置かれている状況に見合った利用者のための計画を立て、外部機関とも連携しつつどう運営していったらよいかを考えるべきである。</p> <p>(1) 図書館経営の基本思想—生涯学習との関係をふくむ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の基本理念 2. 新しい生涯学習の提起 <p>(2) 図書館をとりまく社会の変化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦後の図書館 2. 図書館の新しい時代—60年代後半から70年代 3. 図書館の発展途上に現れた80年代以降の重大な変化 —子ども・若者の図書館離れと要求の変化 <p>(3) 情報化時代の図書館</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子供の遊びと図書館 2. ヤングアダルトへの対応 3. 主婦層への対応 4. 映像・音響文化の提供 5. 施設・設備のありかた <p>(4) アメリカの図書館運営の特徴と日本の図書館運営の問題点</p> <p>(5) 白梅学園短大図書館の歩みから—運営とサービス</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験またはレポート</p>	

【授業科目名】 情報検索演習	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>表計算ソフトウェアの実習を通してデータベースの作成と情報検索の基礎を学びます。コンピュータを使っての情報検索の基本的な手法を理解するとともに、ネットワーク環境を利用した情報の探索・検索についても知識を得ることをめざします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>安達一寿他著「これからの情報リテラシー—課題で学ぶ基礎的情報処理—」 樹村房 (情報処理 I・情報処理 II・情報機器論と共通)</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基本 ・表計算ソフトによるデータベースの作成と情報検索 2. ネットワーク環境におけるデータベース <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク環境でのデータベースの構築 ・ネットワーク環境でのデータベースの検索 	
<p>【評価方法】</p> <p>ネットワーク上での実技試験を行います。</p>	

【授業科目】 図書館資料論	【担当者】 加藤久枝
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館を構成する3要素の1つである図書館資料について、資料の種類、資料収集と出版流通、選書とコレクション評価などについて概説する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>平野英俊ほか著 『図書館資料論』（新・図書館学シリーズ7） 樹村房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>河井弘志編著 『新図書館資料論』（現代図書館学講座2） 東京書籍 馬場俊明編著 『図書館資料論』（JLA 図書館学テキストシリーズ7） JLA</p>	
授 業 計 画	
<p>図書館資料とはなにか 図書館資料の種類と特徴 印刷資料——図書、逐次刊行物など 非印刷資料——視聴覚資料、マイクロ資料、電子資料など コレクション構築 資料の選択（選書） 資料収集 コレクション評価・再編 図書館資料の収集をめぐる諸問題 出版流通 関連法規 図書館協力 収集・提供と「図書館の自由」</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、レポート</p>	

【授業科目】 資料組織概説	【担当者】 加藤久枝
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館では、利用者が図書館資料を速やかにかつ適確に探し出せるように、個々の資料を一定の基準に基づいて組織化している。本講義では、図書館資料の組織法としての目録法、分類法、書誌コントロールについて説明する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>大城善盛ほか著 『資料組織概説』（新・図書館学シリーズ9） 樹村房</p>	
<p>【参考書】 『日本目録規則 1987年版改訂版』 『日本十進分類法 新訂9版』 『国立国会図書館件名標目表 第5版』 『基本件名標目表 第3版』</p>	
授 業 計 画	
<p>資料組織法とは ——資料組織の意義と機能</p> <p>資料目録法 目録の目的と機能 目録規則——『日本目録規則 1987年版改訂版』を中心に</p> <p>資料分類法 分類の理論（分類とは、分類の原則、図書館における分類法） 各種分類法について——『日本十進分類法 新訂9版』ほか</p> <p>件名目録法（件名標目） 件名目録とは 件名標目表について——『国立国会図書館件名標目表 第5版』 『基本件名標目表 第3版』ほか</p> <p>図書館目録と書誌ユーティリティ MARC 目録データの標準化と分担目録 図書館システム化、書誌ユーティリティ、図書館ネットワーク</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、テスト、レポート</p>	

【授業科目】 資料組織演習	【担当者】 加藤久枝
【開講期】 1年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>「資料組織概説」の講義と関連付け、各種基準（目録規則、分類法、件名標目表）の理解を深めるため、これらの基準を用いて実際に資料の分類、目録データ作成を行う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>岡田靖ほか著 『資料組織演習』（新・図書館学シリーズ10） 樹村房</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>資料目録法 『日本目録規則 1987年版改訂版』の各規則の説明 目録データ作成の演習</p> <p>資料分類法 『日本十進分類法 新訂9版』を用いて資料分類の演習</p> <p>件名目録法 『国立国会図書館件名標目表 第5版』と『基本件名標目表 第3版』を用いて主題分析と件名付与の演習</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、課題提出</p>	

【授業科目】 児童サービス論

【担当者】 東 喜望

【開講期】 1年 前期 (集中)

【授業目標】 人生の人格形成期において、児童はその基盤をなす最も重要な時期である。この時期に児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためにはどんな書籍をどのように読ませていけばよいかという問題を精神文化の側面から考察する。時間・量少のため、館内におけるサービス・テクニックにはふれない。

【テキスト】 講義資料を西己布する。

【参考書】 適宜指示する。

授 業 計 画

講義の概要

1. 人間の言語活動
2. 「読む」ことの意義
3. 少年少女期の特性と読書傾向
4. 児童図書としての良書とは何か。
5. 読書指導と選書の方法
6. 児童図書の実状

【評価方法】 筆記試験(ノト・講義資料参照可)

【授業科目名】 情報機器論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 汎用情報機器としてパーソナルコンピュータを取り上げ、ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メールの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざします。	
【テキスト】 安達一寿他著「これからの情報リテラシー—課題で学ぶ基礎的情報処理—」 樹村房 (情報処理Ⅰ・情報処理Ⅱ・情報検索演習と共通) 【参考書】	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・キーボードリテラシーの養成 2. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールの仕組み ・電子メールによる情報交換 ・World Wide Webによる情報の探索と提供の基本 3. コミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ワードプロセッサの編集機能の活用 ・情報の保存と活用 ・思考ツールとしてのワードプロセッサの活用 ・プレゼンテーションツールの活用 	
【評価方法】 課題をネットワーク経由で提出してもらいます。	

特別選択科目（1年）

【授業科目名】 時事・社会特講	【担当者】 小林 洋子、市原 祐則、今井 博
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>自立し社会参加するためには、社会や職業に関する正確な知識と他者とのコミュニケーション能力が必要である。この授業では、オムニバス形式で次の内容を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会人、企業人として求められている人材を知り自己啓発していく方法を学ぶ。 2 日本経済の現状、産業界、会社選び経営の概略などについて基礎的な知識を修得、就職活動、会社選びに対応できる能力を身に付けることを目標とする。 3 マスメディア、特に新聞報道の実態を探り、新聞を読み、ニュースを追う楽しさを知ってもらう。具体的にホットなニュースをとりあげて解説する。 	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント・レジメを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>就職活動のための「やさしい会社入門」 市原 祐則著 日経事業出版社</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、担当：小林 洋子 <ol style="list-style-type: none"> ① 学生と社会人の違いを認識し、社会人の行動や責任について学習する。企業の組織とチームワークが仕事を進める上で重要なことを理解する。職業の選択と、企業側就職担当者の視点について知る。 ② 社会人としてのコミュニケーションの基本を修得する。交流分析によるエゴグラムで自画像を知り、自己改善への気づきにする。 ③ 人の印象をつくり出すものを考察し、さわやかな自己表現に結びつける。言語的、非言語的メッセージの読み方、伝え方を学ぶ ④ 対話の基本である傾聴の技術を身につけ、対面コミュニケーションの実習をする。交流分析のストローク理論を理解し勇気づけの実践をする。 2、担当：市原 祐則 <ol style="list-style-type: none"> ① 日本経済の現状 ② 産業別の好・不況 ③ 好況会社と不況にあえぐ会社 ④ 社会人として働くことの意義、自立の心構え、採用計画への対応など 3、担当：今井 博 <ol style="list-style-type: none"> ① 新聞はどのようにつくられるのか。一人前の新聞記者はどのように育つのか。ニュースが集まり、締め切りをむかえてその日の新聞が出来上がるまでを説明する。 ② 新聞は同じではない。全国紙が日々取り上げるニュースは大同小異だが、その報道姿勢は微妙に違う。実際のニュース報道にそくしてその違いを解説する。 ③ 国際報道における各メディアの姿勢の違いを検証する。特に隣国であるロシアについての報道姿勢を旧ソ連時代から点検する。各紙の違いを浮き彫りにする。 4、全体での討論とまとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>1、授業中のレポート 2、出席状況・小レポート60%、期末レポート40% 3、筆記試験</p>	

【授業科目】 労働・健康特講	【担当者】 木元 稔
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会に参加するために必要な労働に関する就労や経済金融、心身の健康に関する社会参加や余暇・健康増進・福祉・生きがいづくりなどの幅広い知識を学ぶ。</p> <p>また福祉援助学科に必要な科目を修める者は、中高年齢者の生きがいづくりに関してコンピューターを駆使して情報提供する「生きがい情報士」の資格取得を目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>生きがい情報士養成テキスト1（基礎知識・事例編）、および2（技術編）</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と生きがい（現代社会と中高年、中高年と健康生きがいづくり） 2. 社会参加（社会参加、ボランティア活動、ボランティアアドバイザー） 3. 就 労（高齢者の雇用をめぐる現状、企業の中高年対策） 4. 健康づくり（中高年の心身の特性、健康増進と生活習慣病予防） 5. 余 暇（中高年と余暇、生涯学習社会と余暇生活） 6. 経済金融相談（ファイナンシャルプランニング、税金、年金） 7. 健康相談（食生活、運動と休養、喫煙・飲酒、生活習慣病） 8. 福祉相談（福祉ニーズと福祉相談、介護保険のしくみ） 9. 相談援助技術（自己覚知の技術、社会資源活用技術） 10. 集団参加援助技術（集団参加援助技術の基礎知識と展開方法） 11. 地域参加援助技術（生きがい活動の情報把握、地域参加の援助活動） 12. 調査広報技術（ニーズ把握の技法、広報の技術と広報紙の作り方） 13. イベント技術（よきイベントの組み立て方、イベントの留意点） 14. ライフプラン技術（ライフプラン作成上の基礎知識と具体的技術） 	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験により評価する。</p>	

<p>【 授業科目名 】 家庭介護総論</p>	<p>【担当者】 中山幸代、明渡陽子、八木紘一郎 佐野英司、秋山治子</p>
<p>【開講期】 1年 前期</p>	
<p>【授業目標】 福祉の理念を理解するとともにヒューマンケアサービス(対面的対人援助サービス)に必要な技術、特に家庭における介護の技術を学ぶ。家庭介護技術には、高齢者・障害者の福祉制度、障害・疾病、心理を理解し、家族を含めた相談援助も含まれる。 この授業では、これら家庭における介護を行うに必要な知識と技術が習得できるように講義を進める。この授業と、「家庭介護演習」「家庭介護実習」を習得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 授業の始めに指定する。</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉理念とケアサービスの意義 2. サービス提供の基本視点 3. 老人福祉の制度とサービス 4. 障害者(児)福祉の制度とサービス 5. ホームヘルプサービス概論 6. ホームヘルパーの職業倫理 7. 障害・疾病の理解 (1) 8. 高齢者・障害者(児)の心理 9. 障害・疾病の理解 (2) 10. 高齢者・障害者(児)等の家族の理解 11. 介護概論 12. 相談援助とケア計画の方法 13. 医学の基礎知識 14. 在宅看護の基礎知識 15. 住宅・福祉用具に関する知識 16. 共感的理解と基本的態度の形成 17. リハビリテーション医療の基礎知識 	
<p>【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する</p>	

【 授業科目名 】 家庭介護演習	【担当者】 関谷栄子 大槻恵子
【開講期】 1年 前期	
【授業目標】 ヒューマンケアサービス（対面的対人援助技術）に必要な技術、特に家庭における介護の技術を実際に学ぶ。 この授業と「家庭介護総論」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。	
【テキスト・参考書】 授業の始めに指定する。	
授 業 計 画	
基礎介護技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や入浴等の生活の介護 ・ 肢体不自由者の移動の介助 ・ 視覚障害者の歩行介助 ・ ベッドメイキング及び衣類など環境整備 ・ 緊急時の対応 ・ 援助者の健康管理 	
【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する。	

<p>【 授業科目名 】 家庭介護実習</p>	<p>【担当者】 西方規恵、吉沼孝子</p>
<p>【開講期】 1年 前期</p>	
<p>【授業目標】 ヒューマンケアサービス（対面敵対人援助）に必要な技術を介護施設及び在宅介護の現場で実習する。 この授業と「家庭介護総論」「家庭介護演習」を習得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 授業の始めに指定する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>施設等における実技実習の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設介護の現場実習 2. 在宅介護現場訪問と業務実習 要介護高齢者や障害者の家庭における在宅介護の同行訪問見学実習 3. 在宅サービス提供現場の見学 デイサービスセンター、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等の見学実習 	
<p>【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する。</p>	

教養教育科目（2年）

【授業科目】 総合英語Ⅱ－１、２	【担当者】 東郷 裕
【開講期】 ２年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英文のテキストを読んで、内容をきちんと理解した上で個人個人の意見をはっきりと言えるようになる事が目標。テキストの内容は、男性と女性の生物学的相違について考察しており、その上で男女の役割が原始時代からどのように変化したかを論じている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;"><i>The Human Sexes</i> (金星堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>基本的にはテキスト中心に授業を行うが、テキスト以外で興味深い題材があれば、随時コピーして配布したい。授業の中では自分の意見や立場、考えなどをはっきりと述べ、議論が活発になることを希望したい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期テストと日ごろの提出物によって評価する。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>今までに培ってきた英語の基本的技能を、コミュニケーションな面を中心にバランスよく向上させていくことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト】 ABC World News (3) (KINSEIDO)</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>年間を通して、ビデオ教材を使って楽しくスムーズに、リスニングと内容理解の勉強を進めていきたい。テキストはビデオを見ての内容理解のための問題、書き取り、会話練習などで構成されている。</p> <p>ビデオは一つのユニットが一つのニュースを扱っていて、出来れば1回の授業で一つのユニットというペースで進めていきたいので、学生は十分な予習の上、毎回の授業に出席してほしいと思う。</p> <p>* 授業の進め方</p> <p>ビデオを2回程見た後、学生の理解度を見ながら練習問題をやっていく。問題を皆で解決した後には、必ずどれかを提出してもらう。学生は“自分が主役”という気持ちでいつも積極的に授業に参加してほしいと思う。毎回提出してもらう練習問題の結果の集積を、積極的な授業態度（発言、質問への応答）と共に、最後の成績の主なポイントとしたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 総合英語Ⅱ-1、2

【担当者】 川口淑子

【開講期】 2年 前期・後期

【授業目標】

英文講読を通して、基本的な読解方法の確認と、実用性を考慮した、英語の応用能力を培うことを目的とする。

【テキスト】 「心にかかる不思議な話」(Y. Halberstam他著、金星堂、1650円)

【参考書】

授 業 計 画

物語としても面白い英文を読みながら、英語表現の豊かさに触れ、細部のみでなく、全体の展開を把握するための読み方自体を身につけてもらいたい。

授業ではリーディングが中心となるが、英文を正確に訳すのみでなく、リスニングや問題演習も取り入れ、多角的にテキスト及び副教材に取り組むことになる。

副教材については、受講者の要望も考慮して、必要に応じて配布する。

【評価方法】

平常点、レポート、学期末試験などを総合的に評価する。

【授業科目】 総合英語Ⅱ－1、2	【担当者】 新井紀代
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">英語の4技能のうち、「聞く」力と「読む」力の向上を目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p><u>Challenging Listening</u> (金星堂)</p> <p>開講時までには必ず購入しておくこと。他にコピーを使用する。</p>	
授 業 計 画	
<p>リスニングとリーディングの訓練を半分ずつ行なう。</p> <p>*リスニング*</p> <p>TOEFL形式の練習問題集を使用し、毎回リスニングの小テストを行なう。他に、社会問題・心理学・文化など、変化に富んだ内容の <u>Listening Hour</u> (マクミラン) も使用する予定。</p> <p>*リーディング*</p> <p><u>As I See It: ST Opinions, New Interactive Reader</u>などからの抜粋を読む。テーマは、「フリーターの増加」「セクハラ」「交通事情」「アロマセラピー」などさまざま。単なる内容把握にとどまらず、取り上げたテーマについて考え、自分自身の意見を明確に述べる能力の養成を図る。そのために、毎週あるいは隔週、授業時間内に自分の意見をまとめたものを提出してもらう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">次の4つをもとに判定する。</p> <p>1. 出席（授業時間数の3分の2未満の場合、単位取得できない。なお、30分以上の遅刻は欠席とみなす） 2. リスニングの小テスト 3. レポート 4. 学期末テスト</p>	

【授業科目】 選択語学II-1、2 英語	【担当者】 及川 学
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>短文の英訳と和訳を通して留学、旅行に役立つ表現を身につけていく。読解力は随時プリントで補う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>海外留学・旅行表現英作文（南雲堂）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>第1週:授業の進め方の説明</p> <p>第2~3週:1課、2課</p> <p>第4~5週:3課、4課</p> <p>第6~7週:5課、6課</p> <p>第8~9週:7課、8課</p> <p>第10~11週:9課、10課</p> <p>第12~13週:11課、12課</p> <p>第14~15週:13課、14課</p> <p>第16~17週:15課、16課</p> <p>第18~19週:17課、18課</p> <p>第20~21週:19課、20課</p> <p>第22~23週:21課、22課</p> <p>第24~25週:実戦テスト、リーディング</p> <p>第26~27週:実戦テスト、リーディング</p> <p>第28~29週:実戦テスト、リーディング</p> <p>第30週:リスニング実戦テスト、リーディングまとめ</p>	
<p>【評価方法】 前期、後期の試験、数回のレポート、単語ノートの提出をしてもらい総合的に評価する。</p> <p>授業への出席重視。私語、携帯電話、ガムを噛むなどの行為は一切禁止する。はなはだしい場合には退室してもらい、単位も認めない。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2 英語	【担当者】 長尾主税
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>4年制大学の編入試験に対応できる能力を身につける。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>4年制大学への編入試験は、専攻する科目の試験、小論文、面接などに加えて英語の試験が課せられる場合がある。他はうまくいったけれど英語が障壁になった、という事態を招かないよう準備をしなければならない。</p> <p>試験は、大学によって入学試験とまったく変わらない出題の仕方をするところもあるが、おもに総合的な読解問題である。長い文章を読みとけるよう基本的な文法をおさらいし、一定量の文章を、訳さず全体の内容を理解できるように訓練する。</p> <p>英語が苦手な人も、努力と訓練如何でしっかり読めるようになるということを実感していただく。目標を達成するために意欲を持って授業に望んでいただきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点および学期末の試験の成績によって評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ－1、2独語	【担当者】 田中安行
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドイツ語の基礎を復習しながら、簡単な会話と文法、表現の仕方などを発展させる。 2. 現代ドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 	
<p>【テキスト】</p> <p>テキスト・参考書については開講時に説明する。</p>	
<p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練と表現――ビデオやテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解する訓練を行う。重要表現を習得して、音声による自己表現もできるようにする。 2. ドイツ語会話――会話表現の学習を通してドイツ人の生活や考え方などを理解する。 3. ドイツ語の文構造理解――基本的なドイツ語の文でドイツ語の文構造と文法を理解する。 4. 文化理解――スライドやビデオ教材などを通して、ドイツ文化およびドイツの歴史や現状への正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌を通してドイツ人の感情も理解する。 5. 文章理解――辞書を使って、やさしいドイツ語の童話などを読んで、ドイツ語の文に慣れる。 <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時間ドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. 会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツの文化を理解する。 3. 会話文や物語などの文を分析してドイツ語の文法のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から発見して身につけさせる。 4. ドイツのさまざまな資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでドイツについての発見を行うような動きのある学習活動をして、ドイツの対しての正しい知識と理解を得る 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. グループ学習を中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、充実した学習ができるようにする。 	
<p>【評価方法】</p> <p>学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で評価する。</p>	

【授業科目】 選択語学Ⅱ-1、2 仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>《Le Petit Prince》（星の王子さま）を1年かけて原文で読んでみましょう。フランスの名作童話をじっくりと味わいたいものです。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《Le Petit Prince》 Saint-Exupéry</p>	
<p>【参考書】</p> <p>辞書</p>	
授 業 計 画	
<p>◇教材はフランスから取り寄せます。『星の王子さま』のビデオも用意してありますし、作家サン・テグチュペリの一生などもビデオを見ながら学びましょう。</p> <p>◇フランスの名画も鑑賞しましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

專門教育科目（2年）

授業科目 発達心理学 II	担当者 林 潔
開講時期 2年前期	
授業目標 青年期とその問題へのアプローチについて考える。	
<p>テキスト なし</p> <p>参考書 金子・倉沢・神田「最後まで読める心理学」、武藤隆、他「発達心理学」岩波書店、他 随時紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>青年期とその問題について。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 復習もかねて <ul style="list-style-type: none"> 人間の問題についての心理学的アプローチについて 学習理論のモデル 認知論のモデル 精神分析モデル 2. 発達段階の一過程としての青年期 3. 青年期における諸問題 <ul style="list-style-type: none"> 学校における問題 職場における問題 精神病理 社会病理 4. 関係学会における最近の青年期研究報告の紹介 	
評価方法 平常点、指定図書のリポート、中間試験、期末のリポートで評価します。	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 専任教員 他
【開講期】 2年前期・後期	
<p>【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p>【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
授 業 計 画	
<p>指導教員が提示したテーマのうちから一つを選び、原則としてグループごとに研究を進めていきます。</p> <p>前期の「心理学研究演習」では、専攻研究に関する文献の購読や予備調査などを行い、後期の「卒業研究」で本格的なデータ収集作業、統計処理などを行うのが一般的です。</p> <p>研究成果は2月の「卒業研究発表会」で心理学科の内外に向けて発表されます。また、研究報告書(レポート)は個人ごとに作成し、後期末に提出します。</p> <p>研究テーマの決定方法などについては、前年度の卒業研究発表会の前後に掲示による説明があります。</p> <p>次のページ以降に、担当教員の提示したテーマを掲載します。</p>	
<p>【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 荻野七重・福田真一
【開講期】 2年前期・後期	
【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。	
授 業 計 画	
<p>乳幼児期の他者理解</p> <p>乳幼児期及び幼児期の他者理解について、発達の見点から考えます。</p> <p>生まれて間もない赤ちゃんは、人のことがどのくらいわかるのでしょうか。私たちは、自分以外の人のことを、何か欲しそうにしているとか、何かをしようとしているといった、実際には目に見えない他者の内面によって説明することがありますが、幼児も同じような見方をしているのでしょうか。</p> <p>演習では、他者の内面をこどもはどのように理解していくのかという問題を取り上げ、乳幼児期及び幼児期の発達を考えていきます。現在、ヒトは生まれたときから、人に特別な注意を向け、発達とともに他者の内面に気づいていくと考えられています。この発達的な変化に関する知見を紹介していきます。</p> <p>卒業研究では、幼児期の他者理解について、グループで研究を行うことを予定しています。</p> <p>スポーツ心理学</p> <p>数年来「記憶」をこの授業の中心テーマにしてきました。正直のところ、少し飽きてきました。そこで、がらりとテーマを変えて「スポーツ心理学」。私にとってこの領域はまったくの専門外です。でも学習心理学の領域からのアプローチなら何とかやって行けるのではないかと、うまくすると多少は社会あるいは発達心理学的なことも可能なのではないかと感じています。たいへん無責任ないいようですが、前期は一緒に勉強し、後期は何か実験的あるいは調査的なことをしたいと思います。スポーツ行動におけるモチベーション、スキルの習得、イメージトレーニング、コーチング、e t c。いろいろな問題が考えられます。一つのグループとしてまずは基礎知識の習得、後に共通の興味を持つグループに別れて卒業研究に入っていくようにしたいと思います。</p>	
【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 金子尚弘・富田真紀子
【開講期】 2年前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
授 業 計 画	
<p>応用行動分析</p> <p>自閉症児とは、奇異な行動を繰り返し行なったり、言語発達が遅れ、他人に対する反応が欠如している子供のことで、コロロE Tセンターには、自閉症児が治療教育のために週に一度通っています。応用行動分析では、この施設に通っている子供の中で、重度の子供を対象に、文字カードや絵カードなどを使って言葉を実際に教えて行きます。前期は、行動分析学な治療方法を勉強すると共に、子供を観察し一緒に勉強することで、子供を理解します。後期は、前期の経験をもとに、その子供に合わせて学習計画を立て、子供が半年間でどのように成長していくのか、卒業研究としてまとめます。3～5名で一人の子供を担当することになると思います。</p> <p>健康問題における人格的特性に関する研究</p> <p>現代の高齢化社会では、単に長く生きるだけでなく、より快適に健康に過ごせるということが重要です。そのためには人々が積極的に自分の健康を維持・増進するための行動をとることが必要となります。しかし、同じような状況におかれていたとしても、行動の実施には個人差が存在します。この個人差を考えるには心理学的要因が重要であると思われます。この心理学的影響についての理解を深めるために健康問題に関するさまざまな理論を学ぶとともに、質問紙調査によって研究をしていく予定です。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究 【担当者】 倉澤寿之・宇井美代子

【開講期】 2年前期・後期

【授業目標】

心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。

【テキスト】

【参考書】

必要に応じて、指導教員が指示します。

授 業 計 画

(情報端末型)携帯電話の利用実態に関する調査

現在の携帯電話には、メールを読み書きする機能やインターネット上の情報を直接見ることのできる機能などが次々と加わっています。携帯電話はもはや、単に音声通話をするための道具ではなく、文字や画像を含むさまざまなコミュニケーションや情報探索のための道具へと進化しつつあります。

そこで、この研究では、携帯電話の使われ方について調査することを通して、私たちが携帯電話との結びつきを調べてみようと思います。なお、せっかくインターネットとのやり取りが可能な電話端末を相手にするわけですから、インターネットのウェブページ(いわゆるホームページ)上で調査することを主にしようと考えています。まずは、ウェブページを作るところから始めましょう。

ウェブ上での調査に関する研究

インターネットが私たちの生活の中に広がってきたことで、これまでの質問紙調査に代わって、ウェブページ(いわゆるホームページ)上での調査が行われるようになりました。ウェブ上での調査は、調査者にとっても被調査者にとっても手軽であるという長所を持っているため、今後ますます増えていくと考えられますが、こういった調査方法の短所や限界点はないのでしょうか。

この研究グループでは、基本となるウェブページの作成方法やCGIによる調査データ収集の方法をまず実習し、それらを応用した独自の調査をウェブ上で展開してみようと思います。その中で、ウェブ上での調査の特徴や今後の可能性を考えてみましょう。

男性と女性間の平等観について

今まで、男性や女性に対するイメージや、「男性(女性)には、こうあって欲しいな」といったような期待について研究されてきました。また、男女間の平等観というのも研究されてきています。平等観というとかたくるしく感じるとは思いますが、ここでは、「平等」を、「男女がこういう関係だったらいいのになあ」という考え方、ぐらいに考えてもらえたらと思います。この「平等」の考え方にもいろいろあります。例えば、家庭では、男女それぞれの特性に応じた家事分担をしたいといった考え方もあれば、男女が等しく家事分担をするべきだという考え方もあるでしょう。

そこで、まず最初に、自分自身が持っている考え方や、今までの研究で明らかになった考え方を調べたいと思います。次に、この男女に対する考え方が、他の意識や行動(ここは、おいおい検討したいと思います)に、どのような影響を及ぼしているのかを研究していきたいと思います。

【評価方法】

出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 多喜乃亮介・西村牧子
【開講期】 2年前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて、指導教員が指示します。</p>	
授 業 計 画	
<p>言葉では気がつかない心理過程の研究</p> <p>人と話をしているとき、私たちは言葉だけではなく、表情、身振り、声の抑揚や話すテンポなど、文字にできない表現を知らず知らずのうちに使っています。ネット社会ではメールや掲示板といった文字を使った情報交換だけでなく、オフ会のように実際に会って話をすることが楽しいともいわれています。はたして私たちは生活の中でどのくらい文字にならないメッセージを受け取っているのでしょうか。注意を向けてみて気がつくこと、注意を向けても気がつかないこと、知らず知らずに影響されていること、うっかり間違えてしまうことなど、普段見過ごしてしまいそうなことを題材にとって、私たちの認識がどのように成立しているのかを検討してみましよう。</p> <p>リラックスした状態の研究</p> <p>一般に緊張するよりはリラックスしているほうがよいと言われたりします。そのために、過度の緊張あるいは不安を静めるために人それぞれに工夫しているようです。ところで、スポーツ競技場面や演奏会のステージ上に立ったりしたとき、偉い人に会ったりするとき、あるいは毎日の仕事や勉強に追いかけて緊張が続いているときなど、リラックスしたいと思う場面はさまざまです。同じ「リラックスする」という言葉を使っても、状況によって少しずつ意味は違ってきます。気が緩んでボーッとしたりウトウトしたりできることでしょうか。少々違うようです。はたして「リラックスした状態」とはどのような状態なのでしょう。どのようにすればリラックスできるのでしょうか、検討してみましよう。</p> <p>幼児期の人間関係</p> <p>私たちは誰しも幼児期を通りすぎてきました。しかし、なぜ子どもは夢中でごっこ遊びをするのか、なぜけんかしてもすぐに仲直りをするのか。また、彼らは「友達」をどのように捉えているのか。本当のところを私たちは分かっているのでしょうか？経験しているはずなのに分からない子どもたちの「こころ」について、実際に子どもたちを観察・調査することによって追究していきたいと思います。研究の方法としては子どもたちの動きを自然な状態で観察して分析する方法や親子の関係をアンケートによって調査する方法、子どもたちにちょっとした実験をしてもらう方法などがあります。どのような形態を採るかについては各自の目的にあわせて自主的に決めて頂きたいと思います。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究	【担当者】 林潔・日下部典子
【開講期】 2年前期・後期	
【授業目標】 心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。	
【テキスト】 【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。	
授 業 計 画	
<p>ストレスとストレスへの対応 ストレスについて、以下の2つの視点から考えてみます。</p> <p>1. ストレスとストレス処置 ストレス処置すなわち対応の方法 (coping skills) については、いろいろなやり方が紹介されています。 それは心理学あるいは精神医学の領域のみならず日常生活の中や民間療法など幅が広いです。 どのようなものがあるのか、どのような手続きが好まれているのか、調べてみましょう。</p> <p>2. ストレスと社会的支援 一方、人間を支える社会的条件もストレスへの取り組みとして大きな役割を果たしています。 現在人々を支える条件としてどのようなシステムがあるのか、調べてみましょう。</p> <p>乳幼児を育てる母親の育児ストレスに関する研究 新聞、テレビなどで、「育児ストレス」という言葉をよく耳にするようになりました。育児は母親の仕事であると考えられていた一昔前と異なり、現代では、子育ては母親にとって楽しく、有意義であると同時に、ストレスを感じるものになってきているようです。母親自身の健康はもちろん、子どもの心身の健全な発達にとっても、ストレスを減らすことは重要です。 ところで、「育児ストレス」とは、具体的にどのようなものなのでしょう。母親の性格特性と関係があるのでしょうか。また、ストレスを減らすサポートとは何でしょう。そこで、ストレス研究の手法を用いて、育児ストレスの実態を明らかにしていきたいと考えています。</p>	
【評価方法】 出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	金愛慶・松尾和美
【開講期】	2年前期・後期		
【授業目標】	<p>心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することをめざします。研究成果は2月に予定されている「卒業研究発表会」で発表します。</p>		
【テキスト】	<p>【参考書】 必要に応じて、指導教員が指示します。</p>		
授 業 計 画			
<p>青年期特有の心理状態による心の不健康について 青年期とは性的特徴が顕著となり、自我意識が著しく発達する14, 5歳から24, 5歳頃までの時期を指す(広辞苑)。この時期の最大の発達課題は、自分自身についての主体性の確立、つまり、自我同一性(self-identity)の確立である。それ故、青年期は自己を過剰意識することによって、引き起こされる様々な心理的トラブルが発生する時期でもある。 2001年度の卒論のゼミでは、「青年期特有の心理状態」についての基礎知識を深め、青年期で引き起こされやすいとされる様々な心の不健康(対人恐怖傾向、過度なダイエットなど)について検討する。</p> <p>女性特有のストレスとその対処法について 性別によってストレスの内容も異なる。例えば、男性の場合は「満員電車の中で痴漢に間違われるのでは」とか、女性の場合は「出産と仕事の選択の岐路に立たされる」とかがそれである。 2001年度の卒論のゼミでは、女性のストレスに焦点をしぼり、女性特有のストレスとその対処法について検討する。</p> <p>現代青年の友人関係 現代は、手紙や電話に加えて、ケータイ・E-mailなどさまざまな通信手段が発達しています。そのため、いつでもどこでも即座に当人と連絡がとれるという便利さを手に入れました。また、機器の特徴を活かして、ベル友やメル友なる”会ったことはないけど気軽に何でも話せる友だち”という新たな交友関係さえ出現しています。 通信機器の発達によって、いつもすぐにつながる友達関係、あるいは、深いつきあいになることを避けられる顔の見えない気軽な友人関係といったように、友人関係の持ち方が変わってきているのではないのでしょうか? そのような現代青年の友人関係の持ち方を研究してみたいと思います。</p>			
【評価方法】	<p>出欠席、平常点、期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価します。</p>		

【授業科目名】 心理学研究法	【担当者】 多喜乃 亮介												
【開講期】 2年 前期													
【授業目標】 人の脳活動を記録する手法の中でも，外部からまったくエネルギーを加えることなく安全に測定できる方法が脳波記録である。この授業では実際に脳波記録を行うことによって，脳波に現れる脳活動が何を反映しているのかについて理解を深める。													
【テキスト】 プリントを配布する													
【参考書】 宮田 洋 他，『新生理心理学』，北大路書房，1998年													
授 業 計 画													
<p>前半は記録電極の装着および脳波計の操作について実習を行い，脳波と脳波以外の生体電気現象の違い，外部ノイズとの区別，記録上の注意点などについて学習する。</p> <p>次に，各自の脳波を実際に記録し，自発脳波の特徴，意識水準と脳波の関係について学習する。</p> <p>最後に，事象関連電位と呼ばれる脳波活動の測定を行い，人の認知機能をとらえる測定手法を経験する。</p> <table border="0" data-bbox="180 1232 1356 1579"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1. ガイダンス</td> <td>脳の構造，脳波の発生源，操作・記録上の注意点</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">2. 電極の配置と装着実習</td> <td>電極の種類，基準電極，国際10-20法</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">3. 自発脳波の記録</td> <td>安静時，開眼時，閉眼時，精神作業時，睡眠時の脳波</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">4. 自発脳波記録の分析</td> <td>α波，β波，θ波，睡眠脳波，異常脳波</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">5. 事象関連電位の記録</td> <td>標的に注意を向けたときの変化（Oddball課題）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">6. 事象関連電位の分析</td> <td>加算平均，N100，P300</td> </tr> </table>		1. ガイダンス	脳の構造，脳波の発生源，操作・記録上の注意点	2. 電極の配置と装着実習	電極の種類，基準電極，国際10-20法	3. 自発脳波の記録	安静時，開眼時，閉眼時，精神作業時，睡眠時の脳波	4. 自発脳波記録の分析	α 波， β 波， θ 波，睡眠脳波，異常脳波	5. 事象関連電位の記録	標的に注意を向けたときの変化（Oddball課題）	6. 事象関連電位の分析	加算平均，N100，P300
1. ガイダンス	脳の構造，脳波の発生源，操作・記録上の注意点												
2. 電極の配置と装着実習	電極の種類，基準電極，国際10-20法												
3. 自発脳波の記録	安静時，開眼時，閉眼時，精神作業時，睡眠時の脳波												
4. 自発脳波記録の分析	α 波， β 波， θ 波，睡眠脳波，異常脳波												
5. 事象関連電位の記録	標的に注意を向けたときの変化（Oddball課題）												
6. 事象関連電位の分析	加算平均，N100，P300												
【評価方法】 平常点およびレポートによる													

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 投影法の心理検査を体験する。	
【テキスト】 資料配布	
【参考書】 	
授 業 計 画	
<p> 投影法とは、曖昧な刺激を提示しその刺激に対する個人の特有の反応を分析することによって、個人の精神内界の理解を深める心理検査法の一つである。 投影法に様々な心理検査が開発されているが、臨床的心理診断に最も多く用いられるものとしてはロールシャッハ・テストがあげられる。 本講義では、ロールシャッハ・テストの実施や解釈を授業中で実際に体験する。 </p>	
【評価方法】 出席率、討論への参加度、個人テーマのレポート	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 菅沼真樹
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>《 調査面接法 》</p> <p>主に質的研究において用いられる、調査面接の技法を習得する。質問事項の設定、面接場面でのやりとり、結果の整理といった一通りの手続きを実習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定はしないが、授業の中で適宜紹介していく。</p>	
<p>【参考書】 「心理学マニュアル 面接法」 2000 保坂亨・中澤潤・大野木裕明 編著 北大路書房 ￥1,500</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 面接法の概観</p> <p>臨床面接と対比させながら、調査面接の特徴を概観する。面接の目的によってどのような面接法を選択すればよいのか、また、実施するためにはどのような準備が必要なのか、などについて学んでいく。</p> <p>2. 調査面接の実習</p> <p>面接者役、被面接者役を体験する中で、実施上の面接技法を体得することを目指す。参加者は、各自、面接実習を行い、その面接でのやりとりのテープ起こしを行う。それを素材に、どのような面接姿勢が望ましいのかなどについて、実習をふりかえる中で考えていきたい。</p>	
<p>【評価方法】 平常点（授業での発表を1人1回、必ず行う） レポート</p>	

【授業科目】 心理学研究法（箱庭作りの体験から考える）	【担当者】 佐々木 実
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】 20世紀の前半に開発された箱庭療法は、我が国には1965年に河合によって紹介され、その後たいへん普及している。その適応範囲も、当初の子どもの心理療法に限らず、成人にも、そして自己理解のためにも用いられるようになってきている。</p> <p>この授業では、実際に箱庭を作ってみることからスタートし、各自の体験をもとに、箱庭を媒体にしたコミュニケーションの意味について参加者で議論をしながら考えていきたい。講義形式ではなく、体験と話し合いを中心に進めていきたいので、主体的な受講を求める。</p>	
<p>【テキスト】 特に指定なし。</p>	
<p>【参考書】 特に指定なし。</p>	
授 業 計 画	
<p>「箱庭作りの体験をもとに、箱庭療法について考える」</p> <p>私（担当者）は、箱庭療法の専門家ではありませんが、日々の臨床の中で、他の様々な媒体と同様に、箱庭を使ってクライアントさんとコミュニケーションすることは大切にしています。</p> <p>そこで、この授業では箱庭療法についての専門的な知識を講義するつもりはありません（できません）。ここでは、「箱庭」をひとつの媒体として捉え、それがどのような関係の中で作られ、共有されたときに「療法」になりうるのかについて、受講者各自の箱庭づくりの体験をもとに、みんなで考えてみたいと思います。</p> <p>授業内容は、概ね以下のような感じです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇オリエンテーション ◇箱庭づくりの体験 ◇体験をもとにした話し合い ◇時間が許せば、箱庭療法に関する理論や事例なども取り上げて、議論してみたい。 	
<p>【評価方法】 成績は、授業への参加姿勢とレポートにより評価します。</p>	

【授業科目名】 心理学研究法 (カウンセリングの実際)	【担当者】 川島 真
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】 この授業は「実際に行われているカウンセリングとはどういうものなのか」、「心の専門家としてのカウンセラーの役割」を中心に学びます。 そして、次の3点を目標にしたいと思います。 ①カウンセリング・マインドを身につけること ②カウンセリングはどんなところでどのように行われているのかを知ること ③心の専門家としてのカウンセラーに必要な知識と技術とはなにかを知ること また、そして最近の日本では、どのような心の問題が起こっているのか、についても紹介したいと思います。</p>	
<p>【テキスト】 特に定めず、必要に応じて授業時にプリントを配布します</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>少人数授業の特徴を活かして、一方的な講義ではなく、みなさんの考えや感想をお互いに言い合いながら、全員が参加できる授業にしたいと考えています。 授業では次のようなテーマを取り上げる予定です。</p> <p style="text-align: center;">(授業予定)</p> <p>カウンセリングはどうして必要なのか カウンセラーの仕事 スクール・カウンセリング 福祉現場でのカウンセリング カウンセリング・マインド 「話を聴く」とはどういうことか？ カウンセリングの進め方 面接の実際－面接の進め方と面接の技法 日常生活に活かせるカウンセリング</p>	
<p>【評価方法】 レポートを実施。成績はレポート、平常点、出席状況から総合的に評価します。</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 小林能成
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>この授業では、バイオフィードバック法の理解と、実際の訓練の実施による訓練技法の修得を目的とする。講義・実習を通して、心と身体の関係についての理解を深めてほしい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて資料を配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>J. Hassett (平井久 他訳), 「精神生理学入門」, 東京大学出版会, 1987 宮田洋 (監修), 「新生理心理学 2巻」, 北大路書房, 1997</p>	
授 業 計 画	
<p>バイオフィードバックとは、通常では認知し難い生体反応を、装置を用いて認知の容易な情報に変換して生体にフィードバックする方法である。この方法を用いて生体反応の自己制御を行うのがバイオフィードバック訓練である。</p> <p>授業では、まず最初にバイオフィードバック法の原理を解説した上で、次に実際の訓練を通じて機器の操作法や測定技術を身につけると共に、心と身体の間連性についての理解を深めてほしい。</p> <p>〈授業の予定〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バイオフィードバックとは何か 心と身体反応の間連性 一簡単な実験を通して一 バイオフィードバック法の基本的な原理を講義により解説 2. バイオフィードバック訓練の実施 幾つかのバイオフィードバック法についての実習 機器の操作法、訓練技法の習得 訓練の体験。 3. データの分析とまとめ データ分析と評価・考察 4. バイオフィードバック訓練の臨床応例の紹介と方法の解説 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 中丸 茂
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>行動の定義、測定、予測、制御を実際に行いながら、行動分析学の考え方や手法を身につけることを目的とする。また、行動分析学の方法を、日常生活や臨床場面、コーチングなどへ応用する力も養う。</p>	
<p>【テキスト】 講義時にプリントを配布（書き込み形式）</p> <p>*講義終了時には、行動分析学の自分だけのテキストが出来上がる</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 中丸茂 1999 心理学者のための科学入門 北大路書房 中丸茂 2000 トワイライト・サイコロジー 北大路書房 アルパートら 1992 はじめての応用行動分析 二瓶社 super string SR21 1995 「あしたのジョー」心理学概論 中央公論社 杉山ら 1995 行動分析学入門 産業図書</p>	
授 業 計 画	
<p>行動分析学は、実験的分析により、行動の理解・説明・予測・制御を目的とした学問であり、その対象は、観察可能な行動である。その分析単位は、環境と行動についての時間的、空間的關係（随伴性）であり、様々な現象に対して、客観的なアプローチを行っている。</p> <p>本講義は、基礎知識の取得期（講義）とその応用（実習）という2つの形式をとる。前半は、俗信行動（占い、相性、心霊現象）や情動行動（恋愛）などをテーマとして、実験行動分析を中心に講義を行い、後半は、ダイエットや遅刻をなくすなど、各受講者の希望にあわせて、応用行動分析の方法を身につけてもらう。</p> <p>[行動分析学の基礎知識]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科学って何？ あの世は科学の対象になるか？ 死人に口なし！！ 2. 三項随伴性 恋人が冷たくなるとなぜ不機嫌になるのか？ 3. 迷信行動 当たるも八卦当たらぬも八卦？ 4. 情動行動 ヒトはもちろんのこと、ラットやハトも嫉妬する？ <p>[応用行動分析]</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 行動目標 客観って何？ 6. 行動観察法 ヒロちゃんはマイクを何回持ち替えるか？ 7. 実験計画法 なにが行動を制御してるのか？ 8. 査定 行動分析学に統計の知識はいらない？ 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート 1. 行動観察法 実習 2. 応用行動分析（パフォーマンス・マネジメント）</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 安齋順子
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>風景構成法、HTP、バウムテストなどの描画法を体験し 描画の抽象的理解について学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>風景構成法: その基礎と実践 皆藤章 誠信書房, 1994</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 風景構成法(1) 2. 風景構成法(2) 3. HTP(1) 4. HTP(2) 5. バウムテスト(1) 6. バウムテスト(2) 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートを作成し、提出したものを元に行う。出席重視。</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 大石千歳
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>質問紙調査法の概要と実施方法を学ぶ。実習形式で質問紙調査を行い、一連の手順を習得することにより、科学的・学術的なアンケート調査と、そうでない調査の区別ができるようになる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>『心理学マニュアル 質問紙法』（鎌原・宮下・大野木・中澤，1998. 北大路書房）</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業中に紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>質問紙調査法とは、心理学や統計学の知識に基づくきちんとしたアンケート調査のことです。マーケティング会社による市場調査や、広告代理店が行うCMの好感度調査、新聞社の世論調査などにも、質問紙調査が用いられています。この授業では、特定のテーマについて実際に質問紙調査を行います。無作為抽出による回答者のサンプリング、質問項目の作り方、集計や分析のしかた、結果の読み取り方、考察のしかた等の実習を行い、それらの結果をレポートにまとめます。世の中には様々な調査結果があふれていますが、中には信用できないものもあります。この授業に参加すれば、いい加減な「アンケート調査」にだまされない能力が身につきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストは行わず、レポートを提出する。グループ形式の実習なので、出席や、分担された仕事を責任もって行う姿勢を重視する。</p>	

【授業科目】 心理学研究法	【担当者】 草山太一
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>動物を対象にした実験心理学について紹介し、脳神経科学として脳と行動との関係、組織学研究について取り挙げる。この研究法では、ラットの脳の特定部位の損傷手術、肥満モデルの作成、さらに標本の形態観察といった内容から、脳神経科学の研究法を体験することを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>1 はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物を対象とした心理学実験 ・動物福祉・倫理について <p>2 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満腹を制御する部位の損傷手術 <p>3 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織学研究とは <p>4 講義・実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動薬理とは ・薬物の投与方法について <p>5 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳の摘出处置 ・脳の形態観察（余裕があれば損傷部位の確認） <p>6 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート発表 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点・レポート</p> <p>実習の多い授業であるため、積極的な参加を重く評価する。</p>	

【授業科目名】	社会心理学	【担当者】	倉澤寿之
【開講期】	2年後期		
【授業目標】	他者がいることによって受けるさまざまな影響や、他者との間に起こるさまざまな心理学的プロセスを学び、他者と自己とのかかわりについて理解を深めます。		
【テキスト】	【参考書】 特に指定しません。		
授 業 計 画			
<p>1. オリエンテーション・社会心理学とは 授業の方針や講義の概要について説明します。</p> <p>2. 他者がいることによる効果・社会的促進と抑制 他者がそばにいるというだけで、私たちは非常に多くの影響を受けているのですが、ふだんあまり気づくことはありません。そういった隠れた影響について話します。</p> <p>3. 他者をどう見るか(1)印象形成 他者から受ける印象がどのように出来上がっているのかを考えます。</p> <p>4. 他者をどう見るか(2)原因帰属 他者の行為を見たとき、私たちはその人がなぜそのようなことをするのかという原因を考えようとします。そのメカニズムについて考えます。</p> <p>5. 自分を見つめる・自己意識 「自分」を意識することは、他の動物にはほとんど見られない、人間だけの特徴です。この自己意識が私たちの行動とどのようにかかわっているのかを見ていきます。</p> <p>6. 自分を知る・自己知覚 「自分のことは自分がいちばんよくわかる」と思っているものですが、果たしてそうでしょうか。私たちが自分のことを知るようになるプロセスを考えてみます。</p> <p>7. 自分を見せる・自己呈示 「自分が他者からどのように見えるか」は誰にとっても気になるどころですし、実際私たちは意識的にも無意識的にも他者からの見え方をコントロールしようとしています。そのための数々の「技」(?)をご紹介します。</p> <p>8. グループを作る・リーダーシップ 集団で何かをするとき、リーダーの存在は非常に重要です。リーダーシップについて考えます。</p> <p>9. 人に近づく、離れる・空間行動 私たちが他者との間に無意識的に維持している距離の意味を考えます。また、動物と同じような「なわばり行動」についても紹介します。</p> <p>10. 人を好きになる・好意の成立 人を好きになるのはなぜか、好きになってほしいとしたらどうしたらよいかについて、実験データをもとに考えます。</p> <p>11. 人を信じる・ヒューリスティクス 他人からもたらされた情報を、私たちがいかに正しく客観的に評価できないかということをお話します。</p> <p>途中、中間テストを2回か3回行います。</p>			
【評価方法】	マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし) 規定回数以上出席しなかった場合、期末試験の受験資格を与えません。		

【授業科目】 臨床心理学	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 「臨床心理学とは何か?」、 「臨床心理士の役割とは?」、 「様々な臨床現場の実際」、 などをキーワードにし、臨床心理学を概観する。	
【テキスト】 岡堂 哲夫(編) 新版心理臨床入門 -臨床心理士をめざす人のために- 新曜社	
【参考書】	
授 業 計 画	
<p>臨床心理学は、人格心理学をはじめとした基礎心理学や精神医学などを理論的ベースとした応用心理学の一領域である。</p> <p>授業は大まかに次のような順に進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 臨床心理学の定義 2) 臨床心理士の役割 3) 各学派における臨床心理学の基礎理解:精神分析的・現象学的・行動論 4) 臨床心理学の様々な技法 5) 様々な臨床現場の実際と活躍 	
【評価方法】 出席率, 筆記試験	

【授業科目名】 精神生理学	【担当者】 多喜乃 亮介
【開講期】 2年 前期	
【授業目標】 さまざまな心理状態と脳の活動および身体反応を研究題材として，精神活動を支える生理学的変化について脳活動を中心として学習する。このことを通して「意識」，「心」といった主観的な経験の世界が，自らの身体活動とどのように関わりをもつのかについて理解を深める。	
【テキスト】 プリントを配布する	
【参考書】 宮田 洋，『新生理心理学』，北大路書房，1998年 J. ハセット，『精神生理学入門』，東京大学出版会，1987年	
授 業 計 画	
<p>基本的に人を対象とした実験例，臨床例を中心に，心と体の関係について学習する。以下の項目にしたがって進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心と体を結ぶ神経系の働き 中枢神経系と末梢神経系 体性神経系と自律神経系 2. 意識を司る脳の活動 睡眠と覚醒 言語機能と非言語機能 3. 感情・情動と脳の働き 情動反応，不安，ストレス，攻撃行動 快中枢，報酬，薬物中毒 表情，感情障害，前頭葉症状 4. 高次脳機能測定 測定方法（EEG，MEG，PET，MRI，fMRI） 注意，記憶，学習，可塑性 	
【評価方法】 筆記試験	

【授業科目】 心理検査法	【担当者】 金 愛慶
【開講期】 2年 後期	
<p data-bbox="170 327 324 356">【授業目標】</p> <p data-bbox="517 439 1210 517">心理検査法の基礎知識及び 各種心理検査の実施における技術の習得</p>	
<p data-bbox="170 620 324 649">【テキスト】</p> <p data-bbox="412 663 990 696">花沢成一 他(著) 心理検査の理論と実際</p>	
<p data-bbox="170 748 294 777">【参考書】</p>	
<p data-bbox="574 875 945 904">授 業 計 画</p>	
<p data-bbox="412 1155 1074 1189">授業は大まかに次のような順に進める予定である。</p> <ol data-bbox="435 1216 1382 1440" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="435 1216 1074 1249">1) 心理検査の歴史: 心理検査の目的とその意義 <li data-bbox="435 1279 1382 1312">2) 心理検査の理論: 信頼性・妥当性の問題, 心理検査実施上の注意点 <li data-bbox="435 1341 1210 1375">3) 各種心理検査法の紹介: 質問し法・投影法・作業検査法 <li data-bbox="435 1404 933 1438">4) 各種心理検査法の実施とその解釈 	
<p data-bbox="170 1953 324 1982">【評価方法】</p> <p data-bbox="412 2018 786 2051">出席率, 筆記試験, レポート</p>	

授業科目	カウンセリング	担当者	林 潔
開講時期	2年前期		
授業目標	カウンセリングの基礎についての紹介		
テキスト	なし		
参考書	随時紹介します		
授 業 計 画			
<p>今日のカウンセリングの基礎として、Rogersの来談者中心カウンセリングの原理と方法について紹介します。</p> <p>カウンセリング、心理療法は2つのタイプに分けられます。</p> <p>1. 人格中心の取り組み</p> <p>2. 問題中心の取り組み</p> <p>前者の方法をとるものが、来談者中心カウンセリングです。</p> <p>1. 話しをすることの意味</p> <p>2. カウンセリング、心理療法の流れ</p> <p>3. VTR: カウンセリングの進め方 できればその後討論をしましょう。</p> <p>4. Rogersの適応、不適応モデル</p> <p>5. Rogersの人格論</p> <p>6. Rogersのカウンセリングのアプローチ カウンセラーの発言モデルを中心に</p> <p>7. 来談者中心カウンセリングの事例(1)</p> <p>8. 同 (2)</p> <p>9. 来談者中心カウンセリングの高揚と限界</p> <p>10. カウンセリングの倫理</p>			
評価方法	平常点、中間試験、指定図書レポート、 期末レポートで採点します。		

【授業科目名】 応用行動分析	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 2 年 前期	
【授業目標】 学習心理学で学んだことを基礎として、私たちの身近な生活場面でのさまざまな行動の学習や、問題行動の除去などの方法を学びます。この授業で応用行動分析を学ぶことにより、自分自身の行動を見つめ直したり、他人の行動をより深く理解することができるようになるでしょう。また、学習の遅れや問題行動がある子供や青少年の行動を修正する方法についても学びます。	
【テキスト】 「パフォーマンス・マネジメント」 島宗 理 著 米田出版	
【参考書】 「はじめでの応用行動分析」 P. A. アルバート/A. C. トルートマン著 佐久間徹/谷晋二監訳 二瓶社	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、行動変容の基礎 オペラント条件づけと応用行動分析の考え方 2、新しい行動の獲得 オペラント条件づけの応用分野と応用の方法 3、問題行動の除去 問題行動の現れ方と修正、除去の方法 4、行動目標の立て方 さまざまなレベルの目標と行動目標 5、行動の獲得と環境のコントロール 行動の獲得に必要な環境の人為的な操作方法について 6、グループの行動分析 集団を対象とした行動修正の方法について 7、ケーススタディの基本 さまざまなケースを考える 8、一事例の行動分析実験 ベースラインと介入から、行動修正プログラムの効果を確認することを理解する 9、データの記述方法と解釈 行動修正の方法の信頼性の検証することについて 10、行動の連鎖 日常の行動が条件付けの連鎖となっていることを理解する 11、獲得した行動と般化 獲得した行動があらゆる場所で現れるようにするために必要な知識と問題点について 12、発達障害と発達援助 自閉症児など発達に遅れや問題行動がある児童の援助方法 13、自分の行動の管理 行動分析の方法を自分の行動の管理に応用する方法について 	
【評価方法】 平常授業期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。	

授業科目	心理療法	担当者	林 潔
開講時期	2年後期		
授業目標	行動療法の原理と方法について紹介します。		
テキスト			
参考書			
授 業 計 画			
<p>カウンセリング、心理療法の中で、問題中心の取り組みの代表的なものが行動療法です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動療法の原理 2. 受理面接 3. 行動療法の方法 <ul style="list-style-type: none"> 強化と消去 モデリング 不安制止 脱感作 フラッディング 行動契約 4. 行動療法と認知行動療法 5. 認知行動療法の原理 <ul style="list-style-type: none"> ベックのモデル エリスのモデル 6. 認知行動療法の方法 			
評価方法	平常点、指定図書のリポート、中間試験、レポートで行います。		

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
【授業目標】 人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。また、身振りや表情など、非言語的な情報の伝達についても学びます。	
【テキスト】 【参考書】 特に指定しません。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 態度変容(第1日) <ul style="list-style-type: none"> 態度と説得的コミュニケーション 説得への抵抗とリアクタンス理論 2. 承諾誘導(第2日) <ul style="list-style-type: none"> 社会的勢力 さまざまな承諾誘導技法 3. 非言語的コミュニケーション(第3日) <ul style="list-style-type: none"> さまざまな非言語的コミュニケーション 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション 	
【評価方法】 マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)	

【授業科目】 非行の心理学	【担当者】 石橋 昭良
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>最近の思春期における非行問題の特徴的傾向とその背景をとらえ、心理学的アプローチによる非行発生のメカニズムや非行に対する援助の基本的プロセスを示し、非行を理解するための多角的な視点を養う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】 「子どもからのSOS」 小学館 警視庁少年育成課編</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 少年非行の動向と特徴的傾向 2. 少年非行の背景 3. 最近の非行理論 4. 非行少年の行動・心理的特性 5. 非行少年の心理 (1) 暴力行為 6. 非行少年の心理 (2) 薬物問題 7. 非行少年の心理 (3) 性非行 8. 非行少年の心理 (4) 窃盗 9. 非行問題への援助の視点 10. 非行問題の援助プロセス 11. 非行少年と被害少年 12. 被害少年の心理と援助 13. まとめ 14. 試験 	
<p>【評価方法】</p> <p>試験、小レポート、出席重視。</p>	

【授業科目】 障害児心理学	【担当者】 山田寿子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>障害児の指導法の基礎となる障害の定義、障害児心理学の目的、障害発生の原因を明らかにしたうえで、いろいろな障害の定義・発生率・分類・特性及び指導法を明らかにし、「障害」とは何かを明らかにすることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】 「てんかんの障害って何？」日本てんかん協会東京都支部刊</p>	
<p>【参考書】 特になし</p>	
授 業 計 画	
<p>障害児の行動を的確に把握し、事実間の相互連関を明らかにし、その原因を考えると正しい障害児の指導法に通ずる。障害児の有する問題行動やその原因の捉え方及び指導方法について述べる。</p> <p>授業は以下の項目にそって進める。</p> <p>第Ⅰ章 障害の定義 第Ⅱ章 障害児心理学の目的と課題 第Ⅲ章 障害の診断過程 第Ⅳ章 障害の医学・生理学的基礎 第Ⅴ章 障害各論</p> <p>第1章 視覚障害 第2章 聴覚障害 第3章 肢体不自由 第4章 知的障害 第5章 自閉症 第6章 言語障害 第7章 学習障害 第8章 重症心身障害</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 健康心理学	【担当者】 安田朝子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>授業は講義形式を中心とし、必要に応じて簡単な演習を挿入します。おおよそ以下のような流れで授業を進める予定ですが、学生諸氏とのやりとりによって内容が変更されることもあります。ここでは、健康心理学の基本的な視点を学び、そこで得られた知見をもとに日常的な現象にあらたな目を向け考えることを目指します。受講生には、日常的な事象について時にはじっくり考えるきっかけを得て欲しいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>配布資料が中心となります。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に適宜紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> ・健康心理学誕生の背景と基礎的な理論 ・健康心理学の現状と視点 ・健康心理学の基礎知識：人体組織と機能，脳と心の交通路 ・刺激や変化に対応するメカニズム：ストレスのはなし ・刺激や変化に対応するメカニズム：感情のはなし ・慢性という概念：防御回路が焼き切れるとき ・反応閾とストレス：痛みのはなし ・健康と特性：慢性疾患の心理的要因 ・「心」と「体」をつなぐメカニズム：免疫の仕組みを知ろう ・ライフスタイルと健康：習慣と ・予防と健康：健康心理学におけるストレスマネジメント ・健康再考 	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験の成績を中心とし、そのほかに授業中にときおり課すショートレポートと出席状況によって評価します。</p>	

授業科目 心理学特講 I	担当者 林 潔
開講時期 2年前期	
授業目標 交流分析の基礎の紹介	
テキスト なし	
参考書 随時紹介します	
授 業 計 画	
<p>交流分析はいわば精神分析の簡易版として知られています。人が問題にぶつかった時おそらくは、自分でなんとかしようとするのでしょう。その時役に立つ手続きがいくつかあります。その一つが交流分析です。</p> <p>基本的に以下の内容で進行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神分析と交流分析 2. 構造分析 <p>自分自身を5つの下位領域に分けて、特にどの部分にエネルギーをあてて生きているのかを考えます。</p> 3. 交流パターン分析 <p>人間関係の持ち方の特徴について分析します。</p> 4. ゲーム分析 <p>ゲームは一つ一つの行動の背景にある、一般的なマイナスの傾向です。これをチェックして、ゲームに陥らないような方策を考えます。</p> 5. 脚本分析 <p>長期間その人を支配するようなマイナスの行動傾向です。これに気づき脚本の影響を少なくするかその方法について考えます。</p> 	
<p>評価方法 平常点、中間試験、指定図書のリポート、期末のリポートで採点します。</p>	

【授業科目】 心理学特講II	【担当者】 伊藤典幸
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>今後自らが社会生活の中で遭遇するであろう問題解決場面で心理学が いかに有効かを知るとともに、現実の場面でこれまで学んだ心理学の 知識を効果的に活用しうる能力を身につけることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>必要に応じプリントを配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じ随時紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>心理学の応用事例、社会的な事象の心理学的解釈等を各種紹介した 後、下記のテーマについてより掘り下げた解説を行っていく。</p> <p>1. 居住空間の設計</p> <p>応用的な見地から現実の空間の中での人間の行動についての実験例、 実例を紹介しながら、それら個々の事例について心理学的な解釈を行 なっていく。また、その目的に応じた心地好い空間を作り出すには、 どのような設計をするべきかを応用心理学的な見地から考えていく。</p> <p>2. 企業向け教育訓練プログラムの体験</p> <p>米国大手エアラインでコックピットクルーのトレーニング用に開発 され、一般の企業においても組織のチームワーク養成に利用されてい るコミュニケーション能力開発プログラムの体験学習を行う。ここで は、このプログラム自体の意義を考えると同時に、トレーニングプロ グラムの中で自分自身が何を学習できたかを考えていく。</p> <p>3. 事故とヒューマンエラー</p> <p>航空機事故、工場事故その他の事例をとりあげ、事故原因における ヒューマンエラーの問題を取り上げる。事故防止のためのマン・マシ ン・インターフェースの改良の歴史を解説しながら、ヒューマンエラ ーの根絶の難しさ、その背景にある人間行動の複雑さを再認識してい く。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目】 精神保健	【担当者】 青田洋一
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見をとくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】 ナンシー・C・アンドリアセン『故障した脳』（紀伊國屋書店）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>おおよそ以下の項目にそって進める。</p> <p>①総論…精神障害とは？ 予防とは？</p> <p>②基本的用語の理解 不安, 恐怖, 強迫, 離人, 心気, 抑うつ, 躁, 幻覚, 妄想, せん妄 もうろう, 憑依, 痴呆, 健忘, e t c</p> <p>③精神障害の分類</p> <p>④精神分裂病</p> <p>⑤躁うつ病</p> <p>⑥神経症</p> <p>⑦その他の精神障害</p> <p>⑧精神障害の治療</p> <p>⑨精神障害と責任能力</p> <p>⑩精神医療の現状と問題点</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験 (テスト)</p>	

司書科目（2年）

【授業科目】 図書館サービス論	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館は資料・情報を収集、整理、保管し、それを利用者に提供する社会機関であるが、そのうちの資料・情報の提供など利用者と直接かかわるサービスについて、その意義や特質、方法を学習する。</p>	
<p>[参考書]</p> <p>『図書館サービス論』前園主計編著 東京書籍 1998 199p (新・現代図書館学叢書 4) 『図書館サービス論』金中利和ほか編 樹村房 1999 181p (新・図書館学シリーズ 3) 『図書館サービス論』森智彦編著 日本図書館協会 1997 (JLA図書館情報学テキストシリーズ 3)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 図書館サービスの意義と理念</p> <p>(2) 公共図書館におけるサービス</p> <p>(3) サービスの種類と方法 資料提供 読書案内 情報サービス 複写サービス 利用教育</p> <p>(4) 利用対象者別サービス 児童 青少年 一般成人 高齢者 障害者 アウトリーチサービス 多文化サービス</p> <p>(5) 館種別図書館サービス</p> <p>(6) 図書館サービスの協力</p> <p>(7) 図書館サービスと著作権</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 情報サービス概説	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>情報サービスは、図書館サービスの一つであり、図書館利用者と資料・情報とを結びけ、人々の研究・学習を援助することである。図書館における情報サービスとは何かを明らかにし、レファレンスサービス、情報サービス等について学習する。</p>	
<p>[参考書]</p> <p>『レファレンスサービス 図書館における情報サービス』長澤雅男 丸善 1995 『情報サービス概説』小田光宏 日本図書館協会 1997 (JLA図書館情報テキストシリーズ 4) 『情報サービス概説』渋谷嘉彦編 樹村房 1988 (新・図書館テキストシリーズ 4) 『情報サービス概説』田村俊作編著 1999 (新 現代図書館学 5)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報サービスとは何か</p> <p>(2) 情報サービスの構造と機能 図書館機能と情報サービス機能 直接的サービスと間接的サービス ほか 高度情報社会と情報サービス 図書館の情報サービスの変化など</p> <p>(3) 情報サービスの種類 直接的サービス 質問回答 利用指導 文献リスト作成 カレント・アウェアネス・サービス 案内・紹介サービス 間接的サービス 情報提供環境の整備 相互協力とネットワーク形成</p> <p>(4) 情報検索とサービスの展開 情報検索の定義と種類 オンライン書誌情報検索 図書館における情報検索サービスの展開</p> <p>(5) 情報探索行動とレファレンスプロセス</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 レファレンスサービス演習	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 後期	
【授業目標】 演習問題を課し、レファレンス回答の手順や情報源の使用法をマスターする	
【テキスト】 『情報源としてのレファレンスブックス』 長澤雅男 日本図書館協会 1995 『問題解決のためのレファレンスサービス』 長澤雅男 日本図書館協会 1995 <hr/> 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>(1) レファレンスプロセスの実際</p> <p>(2) 情報探索の方法 レファレンスインタビュー 質問の分析から情報(源)の提供まで</p> <p>(3) 情報源の種類と特性</p> <p>(4) 参考図書とレファレンスコレクション</p> <p>(5) 電子メディアの活用</p> <p>(6) 二次資料の作成</p>	
【評価方法】 授業時の演習レポートと期末レポート	

【授業科目】 専門資料論	【担当者】 森崎 富喜
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>人文科学、社会科学、自然科学・技術の各分野における知識の構造と資料との関係について理解するために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について学ぶ。</p>	
【テキスト】	
<p>【参考書】</p> <p>『専門資料論』中森強編著 東京書籍 1998 (新 現代図書館学講座9)</p> <p>『専門資料論』戸田光昭ほか 樹村房 1998 (新・図書館学シリーズ8)</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 専門分野の特性 人文科学、社会科学、自然科学等、各専門分野の概念と特性</p> <p>(2) 各専門分野の資料の特性と種類 人文科学情報 社会科学情報 自然科学技術情報 工学・工業技術情報</p> <p>(3) 主要な一次資料と二次資料</p> <p>(4) 専門資料とメディアの多様化</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">授業態度 授業時に行うミニテスト 期末試験</p>	

【授業科目】 資料特論	【担当者】 深水浩司
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会的に情報化が進む中、今までは各メディアで独立していたものが、マルチメディアという概念をもとにし、統合的にコンピュータ上で使用可能となっている。コンピュータで扱えるツールを中心に、各自が情報発信をできる知識を学び、その能力を習得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指定する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じ紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>コンピュータの世界において、ここ数年の特筆すべき技術のひとつに「Web 技術」を挙げることができる。新しいメディアとしてもさまざまな形態が試行され利用されている。それを加速するように、デジタル・マルチメディア技術も発展してきた。図書館が使用する資料も、当然ながらこれらの影響を受けている。</p> <p>本講義（実習）では、図書館において使用される（または今後使用されるであろう）資料を概括し、その中から、自主作成できるものとして、プレゼンテーションツール（たとえば Powerpoint など）を利用した資料の作成と、新たなメディアとして脚光を浴びている Web 技術を使用したページの構築や、さまざまなコミュニケーションツールの扱い方を学び、技術を習得する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、レポート等</p>	

【授業科目名】 コミュニケーション論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期(集中)	
【授業目標】 人間が他者に説得的に働きかける時に起こる、さまざまな心理学的な現象について学びます。また、身振りや表情など、非言語的な情報の伝達についても学びます。	
【テキスト】	
【参考書】 特に指定しません。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 態度変容(第1日) <ul style="list-style-type: none"> 態度と説得的コミュニケーション 説得への抵抗とリアクタンス理論 2. 承諾誘導(第2日) <ul style="list-style-type: none"> 社会的勢力 さまざまな承諾誘導技法 3. 非言語的コミュニケーション(第3日) <ul style="list-style-type: none"> さまざまな非言語的コミュニケーション 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション 	
【評価方法】	
マークシート方式による筆記試験(持ち込みなし)	

【授業科目】 図書館特論	【担当者】 深水浩司
【開講期】 2年 前期 (集中)	
<p>【授業目標】</p> <p>本来、図書館特論のねらいは、「図書館における今日的な課題について取り上げ解説する」ことにある。本講義では、図書館における資源を、情報と人的に分け、前者は情報機器の核となるコンピュータを中心に、後者は「人」についての今日の問題を考察し理解する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指定する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じ紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>本講義では、まず、図書館における情報資源と人的資源を簡単にまとめ、情報資源については、情報機器とくにコンピュータで扱える情報を中心に解説し考察する。具体的には、情報の所在についての知識習得、情報へのアクセス手法、情報検索技法、コンピュータリテラシー教育、メディアリテラシー教育などを学ぶ。</p> <p>また、人的資源については、今日の問題として図書館職員（とくに司書職）を含めたアウトソーシングや人員削減問題について考え、受講者なりの意見をまとめ上げてもらいたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、レポート等</p>	

学籍番号・

氏名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

教務課 042(346)5619